

ガスふろ給湯器

取扱説明書

保証書付

特定保守製品

品 名	型 式 名
GX-206AF-1	GX-206AF
GX-204AF-1R	GX-204AF-R (N)

このたびはガスふろ給湯器をお買い上げいただきましてありがとうございます。

この製品は『消費生活用製品安全法』に指定された**特定保守製品**です。(→P. 28)

ご使用になる前に必ずこの取扱説明書をよく読みいただき、十分に理解したうえで正しくご使用ください。

この取扱説明書の裏表紙が保証書になっています。内容をよくご確認ください。

この取扱説明書は、いつでもご覧になれる身近なところへ大切に保管してください。

取扱説明書を紛失された場合は、お買い上げの販売店または、弊社窓口へご連絡ください。

その際、機器本体の銘板をご覧のうえ、品名・製造年月をお知らせください。

この取扱説明書では、標準タイプのリモコンについて説明しています。高機能タイプのリモコンをご使用の場合は、リモコンに付属の取扱説明書も併せてご覧ください。

もくじ

	ページ
この製品の特長	1
安全に正しくお使いいただくために	2
この取扱説明書の表示について	2
機器本体の表示について	2
必ずお守りください	2
各部の名称とはたらき	7

ご利用前の準備	10
機器の準備	10
現在時刻を合わせる	10

お湯を使うには	11
自動でおふろを沸かすには	13
おふろ沸かしを途中で停止したいときは	14
沸かし直しをするには	14
ふろ温度・保温時間・ふろ水位をセットするには	15
ふろ温度の設定	15
保温時間の設定	15
ふろ水位の設定	16
チャイムや音声ガイドの音量を調節する	17
音量の設定	17
おふろのお湯を熱くするには(追いだき)	18
おふろのお湯をぬるくするには	19
おふろのお湯をたしたいときには	20
おふろが沸く時刻を予約するには	21
予約運転を開始する	21
省電力機能について	23
残り湯を洗濯などに利用する(ポンプ運転)	24

冬期の凍結予防をするには	25
長期使用製品安全点検制度	28
点検のポイント・お手入れのしかた	30
故障かな?と思ったら	32
アフターサービスについて	35
仕様一覧	36
保証書	裏表紙

お使いいただく前に

はじめて使うときには

使い方

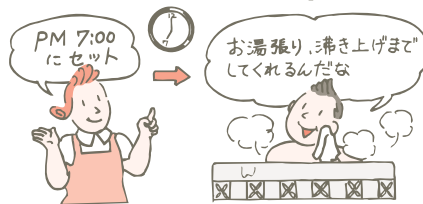
長くお使いいただくために

この製品の特長

快適な「お湯のある暮らし」のための便利な機能を豊富に揃えました。どうぞお役立てください。

便利です!

- おふろもシャワーも給湯も、これ1台でOK。
- スイッチオン!の簡単操作でおふろが沸かせます。
(→P. 13 参照)
- 予約タイマー付きだから、忙しい方もお好きなときにバスタイム。
(→P. 21 参照)



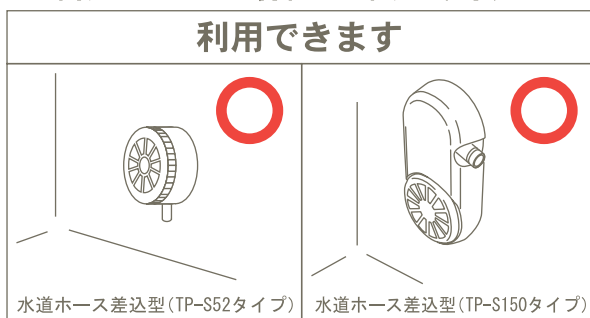
- 浴室から台所や他の部屋にいる人を呼び出すことができます。

浴室リモコンの呼び出しスイッチを押す



環境にもやさしい!

- 残り湯はポンプ運転で洗濯機へ。水の節約(省資源)になります。
(→P. 24 参照)
(※浴槽の循環口の種類によって利用できない場合があります。)



- リモコンは待機時の消費電力を低減するため、未使用時に蛍光表示を消す、省電力機能付きです。
(→P. 23 参照)

快適です!

- おふろのお湯の温度を自動的に保温して、いつも快適なおふろです。
(→P. 13 参照)



選べるリモコン

- この機器は、取り付けるリモコンのタイプを標準タイプと高機能タイプからお選びいただけます。
- この取扱説明書では、標準タイプの浴室リモコン (FC-630)・台所リモコン (MC-630)・増設リモコン (SC-630) について説明しています。
- 標準タイプ以外のリモコンを取り付けているお宅では、リモコンに付属されているリモコン操作方法の取扱説明書をよくお読みください。

選べるユニット

- この機器は、下記のユニット等と接続して使用することができます。取り付けているお宅では、各ユニットに付属の取扱説明書をよくお読みください。

洗濯注湯ユニット
ソーラーユニット
暖房ユニット

洗濯&トイレ注水ユニット
即湯ユニット

安全に正しくお使いいただくために

■この取扱説明書の表示について

この取扱説明書では、機器を正しくお使いいただき万一の事故を未然に防ぐため、以下のような表示で注意を呼びかけています。

危険

この表示を無視して誤った取扱いをすると、使用者等が死亡または重傷を負う危険、または火災の危険性が切迫して生じることが想定される内容を示しています。

警告

この表示を無視して誤った取扱いをすると、使用者等が死亡または重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容を示しています。

注意

この表示を無視して誤った取扱いをすると、使用者等が傷害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

■絵表示については次のような意味があります。



一般的な禁止



火気厳禁



接触禁止



分解禁止



必ず行う



電源プラグを抜け



アースを接続せよ

お願い

ご使用になるときに、よく理解していただきたい内容を示しています。

(→P. XX 参照)

参照ページを示しています。

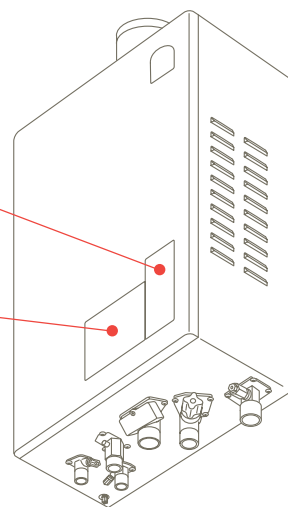
■機器本体の表示について

銘板 **特定保守製品**

- 品名・型式名・使用ガスの種類・製造年月・製造事業者等を表示しています。

使用上の注意

- 使用上の注意について表示しています。



必ずお守りください（安全上の注意）

安全に正しくお使いいただくために、この内容は必ずお読みください。

危険

給排気筒の定期点検

- 給排気筒（給排気筒トップを含む）が外れていたり、鳥の巣・落葉・ススなどでつまっていないか定期点検をする。つまっていると排気ガスが室内に漏れて一酸化炭素中毒の原因となり、危険です。

ガス漏れ時の処置

- ガス漏れに気づいたときは、機器の使用を中止し、ガス栓を閉じてからお買い上げの販売店、または最寄りのガス事業者に連絡する。
 - ①給湯栓を全て閉じる。
 - ②ガス栓を閉じる。
 - ③窓や戸を開け、ガスを外に出す。
 - ④最寄りのガス事業者（供給業者）に連絡する。
- すべての処置が終るまでの間絶対に火をつけたり電気器具（換気扇その他）のスイッチの入・切や電源プラグの抜き差しおよび周辺の電話を使用しない。炎や火花で引火し火災のおそれがあります。



火気厳禁

必ずお守りください

警告

機器設置(および付帯工事)

- 機器の設置・移動および付帯工事は、お買い上げの販売店、または弊社窓口へ依頼し、安全な位置に正しく設置する。設置工事に不備があると事故の原因になります。

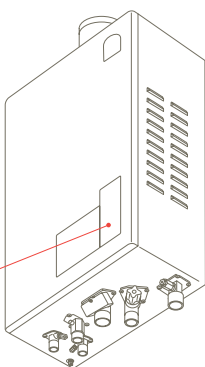
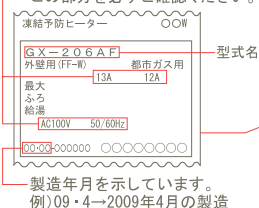
使用ガス、使用電源の確認

- 機器の銘板に表示してあるガス種(ガスグループ)および電源(電圧・周波数)で機器を使用してください。ガス種および電源が一致しないと不完全燃焼による一酸化炭素中毒になったり、爆発着火でやけどをしたり、機器が故障する場合があります。

- 転居時の注意は(→P. 35 参照)

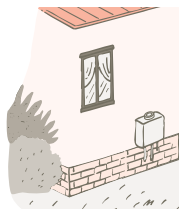


●この機種はAC100V50/60Hz共用です。
(例:都市ガス12A・13Aの場合)
この部分を必ずご確認ください。



この機器は屋内設置用です

- この機器は屋内設置用です。屋外に設置しないでください。雨水の浸入などで、故障の原因になります。



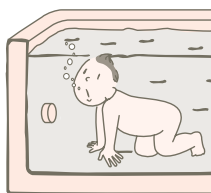
禁止

給排気筒トップに囲いをしない

- 増改築などによって給排気筒トップを屋内状態にしたり、ビニールや波板などで囲いをしない。また、給排気筒トップの前方に物を置かない。一酸化炭素中毒や火災の原因になります。

お子様には十分な注意を

- 浴槽の循環口の付近で湯(水)に潜ったりしない。特に小さなお子様のいるご家庭では注意してください。思わぬ事故につながる可能性があります。
- 浴槽にお湯張りしているときや沸かしているときに、お子様を浴室で遊ばせない。思わぬ事故につながる可能性があります。

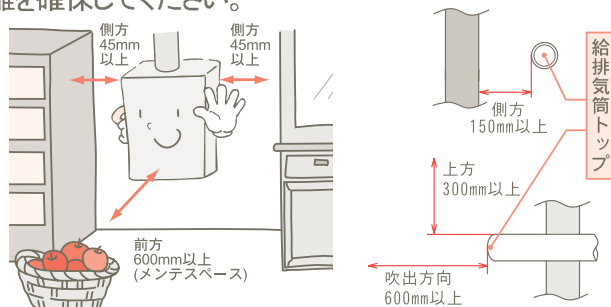


禁止



火災予防のために必ず守ること

機器および給排気筒トップの周辺は常に図のような離隔距離を確保してください。



- 機器および給排気筒(給排気筒トップを含む)の周辺には紙や木材など燃えやすいものを置かない。火災の原因となります。
- 機器および給排気筒(給排気筒トップを含む)の周辺ではガソリン・ベンジン・スプレーなど引火性危険物を使用しない。引火して火災を起こすおそれがあります。
- 機器および給排気筒(給排気筒トップを含む)の周辺や上にスプレー缶・カセットコンロ用ボンベを置かない。熱でスプレー缶の圧力が上がり爆発のおそれがあります。
- 給排気筒トップは洗濯物などでおおわない。不完全燃焼の原因となります。



禁止

異常時の処置について

- ①給湯栓を開けても点火しない場合、また、使用中で火が消える場合は、ただちに使用を中止してガス栓を閉じる。



給湯栓・ガス栓を閉じる

- ②本書の「故障かな?と思ったら」(32~34ページ)に従って処置をする。
- ③上記の処置をしても直らない場合、または、使用中に異常な燃焼や臭気・異常音・異常な温度を感じた場合は、使用を中止してお買い上げの販売店、または弊社窓口へ連絡する。

地震・火災などの緊急時の場合

- 迅速に使用を中止し、ガス栓を閉じる。

安全に正しくお使いいただくために、
この内容は必ずお読みください。

お使いいただく前に

給湯・シャワー使用時、入浴時の注意

- ① シャワーなどお湯を使う場合は最初に熱いお湯が出るがあるので注意する。手のひらで温度を確かめて湯温が安定してからお使いください。
- ② 給湯使用時は出湯管（蛇口）が熱くなるので、やけどに注意する。
- ③ お湯を止めた後に再使用するとき、お湯の量を急に少なくしたとき、給水圧が下がったとき、あるいは、万一機器が故障した場合には、一瞬熱いお湯が出ることもある。手のひらで温度を確かめて湯温が安定してからお使いください。
- ④ シャワー・給湯使用中は、使用者以外はお湯の温度を変更しない。突然、熱湯や冷水が出て思わぬ事故につながる場合があります。
- ⑤ 浴槽に入るときは、手でお湯の温度を確認して入浴する。また、浴槽中のお湯は上下に温度差がある場合がありますのでご注意ください。
- ⑥ おふろ沸かし（沸かし直し）や追いだし時には、循環口付近は熱くなることがあるので注意する。



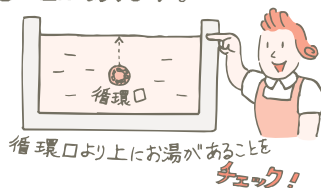
⚠ 注意

用途についての注意

- 一般家庭での台所・シャワー・洗面などへの給湯、おふろ沸かし以外の用途には使用しない。思わぬ事故につながる場合があります。
- 車両・船舶への搭載はしない。振動により機器が転倒し、火災や機器故障の原因になります。
- ユニットを取り付けの際は、ユニットの用途以外には使用しない。（ユニットに付属の取扱説明書をよくお読みください。）

空だき防止

- 追いだしスイッチを押すときは、必ず浴槽の循環口より上に湯（水）が入っていることを確かめる。水位が循環口より低いと、空だきによる機器の故障や浴槽の損傷などの原因となることがあります。



長期間使用しない場合

- 長期間使用しないときは、ガスの元栓を閉じてください。

機器本体でのやけどに注意

- 機器の使用中最もまたは使用後しばらくは、給排気筒（給排気筒トップを含む）とその周辺部に絶対に手を触れない。高温になっていますのでやけどのおそれがあります。



ガス接続について

- この機器のガス管の接続はねじ接続です。接続は配管技能者が行いますので、お買い上げの販売店、または弊社窓口へご相談ください。

機器本体に無理な力を加えない

- 機器本体やガスの接続部などに乗らない。けがや機器の変形による故障のおそれがあります。

分解禁止

- お客様ご自身では絶対に分解したり修理・改造は行わない。異常作動して事故の原因となります。



電気事故防止

- 電源コードを加工したり無理な力を加えない。感電・ショートや発火による火災のおそれがあります。
- 傷んだプラグやコードは使わない。差込みがゆるいと感電や火災の原因になります。
- 電源プラグのほこりは、拭き取る。発火の原因になります。
- 濡れた手で電源プラグをさわらない。感電のおそれがあります。
- コンセントから電源プラグを抜くときは、プラグを持って抜く。コードを引っ張ると内部で断線して発熱や発火の原因になります。
- この機器は接地工事（アース）が必要なので、アースがされているか確認する。



ソーラー機器について

- ソーラー機器とは絶対に接続しない。（ソーラーユニットを使用する場合は除く）夏期にソーラーの水温が高くなるとお湯の温度制御ができなくなり、高温のお湯がそのまま出ます。やけどをしたり機器の故障原因になります。



必ずお守りください

お願い

リモコンの扱いについて

- 台所リモコンには水をかけないでください。
浴室リモコンは防水タイプですが故意に水をかけないでください。スピーカー部に水がかかると音声小さくなる場合があります。
- リモコンはお子様がいたずらしないよう注意してください。



市販の補助用具について

- 事故防止のため、この機器の純正部品以外は使用しないでください。
- 水圧の低い地域では泡沫水栓を使用しないでください。
- 市販品の湯冷め防止器などは使用しないでください。
- やけど対策上、サーモスタット付混合水栓の使用をお勧めします。
- 混合水栓にはさまざまな種類があります。使用方法は、混合水栓の取扱説明書をご覧ください。

飲用にお使いのときは

- 機器内に長時間たまった水（たとえば朝一番の使い始めのぬるい湯が出るまで）は、飲まないで雑用水としてお使いください。



断水するとき

- 断水ときは、給湯栓を閉じ、リモコンの運転スイッチを切ってください。

特監法対象機器

- この機器の設置工事および変更工事は、法律（特定ガス消費機器の設置工事の監督に関する法律）に基づいて行い、工事完了後、機器本体に法定のステッカー（表示ラベル）を貼り付けることになっていますので確認してください。

このステッカーが貼られていない場合は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

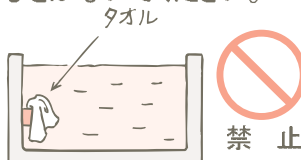
特定ガス消費機器の設置工事の監督に関する法律第6条の規定による表示	
工事事業者の氏名又は名称及び連絡先	TEL
監督者の氏名	
資格証の番号	
施工内容及び施工年月日	年 月 日

電源プラグを抜かない

- お手入れの際、長期間使用しない場合、および凍結防止のため水抜きを行うとき以外は電源プラグを抜かないでください。

入浴時の注意

- 循環口を外して、お子様がオモチャ等を入れて遊ばないように注意してください。機器の故障の原因になります。
- 浴槽の循環口をタオルなどでふさがないようにください。循環不良によりお風呂沸かしができなくなったり、機器の故障原因になります。



雷が発生しているときの注意

- 雷が鳴り始めたらすみやかに運転を停止し、感電に注意して電源プラグをコンセントから抜いてください。雷による一時的な過電流で電子部品を損傷することがあります。
- 30分以上電源プラグをコンセントから抜いた場合は、リモコンの各設定（給湯温度・ふろ温度・ふろ水位・現在時刻・予約時刻等）を行い、表示を確認したのちご使用ください。



電源プラグを抜け



雷が鳴ったあと機器が作動しないとき

- 落雷の際に、機器内の漏電リレーが作動したことが考えられます。この場合は電源プラグを一度コンセントから抜き、再度差し込んでください。それでも使用できないときはお買い上げの販売店、または弊社窓口へご連絡ください。

日常の点検・お手入れ

- 安全にお使いいただくために、点検・お手入れは月1回程度必ず行ってください。（詳しくはP. 30をご覧ください）
- 故障または破損したと思われるときは使用しないでください。このときご家庭で修理せず、お買い上げの販売店、または弊社窓口へご連絡ください。
- 循環口フィルターはこまめに掃除してください。浴槽内の循環口フィルターが詰まると、浴槽の湯温が不均一になったり、沸き上がる前に消火することがあります。
- 浴槽や洗面台が、水中の微量の銅イオンと脂肪分（湯アカ）により青く着色することがあります。日々、浴槽や洗面台のお手入れをするとともに、万一着色した場合はクレンザーやアンモニア水（10%程度）等で拭き取ってください。

停電時または電源プラグを抜いたとき

- この機器は、停電時や電源プラグを抜いたときは使用できません。
- 停電時は給湯栓を閉じてください。
- 再通電したときは、リモコンの設定（給湯温度・ふろ温度・ふろ水位・現在時刻・予約時刻等）を行い、表示を確認したあとご使用ください。
- 30分以上の停電のときは、リモコンの再設定が必要です。
- 自動でお風呂を沸かしているときに、停電になると、自動運転が停止し、循環口からの湯が止まります。通電後、再度、運転スイッチを押し、ふろ自動スイッチを押してください。（→P. 13 参照）



給湯栓を閉じる



凍結についての注意

- 凍結のおそれがあるときは、この取扱説明書のP. 25「冬期の凍結予防をするには」に従って処置してください。おこたると機器内の水が凍って機器が破損することがあります。

凍結したとき

- 凍結したままでは絶対に使用しないでください。
- 機器や配管が損傷した場合、高額な修理費がかかります。（有料）
- 凍結がとけたあと再使用するときは、すべての給湯栓から水が出ることを確認し、機器および配管から水漏れがないことを確認後、P. 27「再使用する時」の項以下の操作を行ってください。

長期間使用しないときは

- この取扱説明書P. 26の「機器の水を抜く方法」に従って、水抜きを行ってください。水が長いあいだ流れないと、一瞬濁ったお湯が出たり、冬期に凍結する場合があります。

この機器は一般家庭用です

- 業務用のような使いかたをされると機器の寿命を著しく縮めます。この場合の修理は保証期間内でも有料となります。

お願い 設置する場所や状況について

可燃物との離隔距離

- 機器および給排気筒トップを設置する場所の周囲の壁、天井などが防火上安全なものであるか確認し、可燃性の部分から十分離して設置してください（不明な点は販売店へご相談ください）。

設置場所について

- 設置場所をお決めになるときは近隣の家が運転音（燃焼音・燃焼用送風機・ポンプ回転音）で迷惑にならない場所に設置してください（工事担当者にご相談ください）。
- 足場などを組んだり、ハンゴ・脚立を使わなければメンテナンスができない高所などに設置しないでください。メンテナンスをお断りすることがあります。

塩ビ管の使用について

- 給水・給湯配管に塩ビ管を使わないでください。機器の使用直後に熱交換器の後沸きにより塩ビ管が破裂し、熱湯がふき出したり、多量の水漏れの原因になります。

塩害

- 海岸近くに設置するときは、潮風にさらされる場所を避けてください。機器が腐食し、故障の原因になります。

ほこり

- 砂や油煙・ペットの毛など、ほこりのたちやすい場所には設置しないでください。ほこりが給排気筒トップをふさいで、燃焼用の送風機の性能を低下させ、不完全燃焼の原因となります。

入浴剤や洗剤についての注意

- 強酸・強アルカリの洗剤および、硫黄・酸を含んだ入浴剤は、機器の性能低下や熱交換器等が腐食する原因となりますので使用しないでください。入浴剤の含有成分等を確認し機器への悪影響がないものをご使用ください。
- ふろ用洗浄剤または乳白色や白濁する入浴剤のなかには、沈殿物が熱交換器にたまって異音を発生したり、フィルターやお湯の通路にたまって動作不良を起こすものがあります。沈殿物を生じないものでも熱交換器内で沸騰を起こし異音を発生することがあります。このような入浴剤はご使用を避けてください。
- 薬草やゆず入り入浴剤の場合は、薬草などがフィルターや機器内部につまることがありますので、ご使用を避けてください。

通水使用の禁止

- 運転スイッチを切った状態で、給湯栓を開けて水を出したり、シャワーを浴びないでください。機器の寿命を短くします。

ガス事故防止のために

- 使用時の点火、使用後の消火のほか、使用中も正常に燃焼していることをリモコンの燃焼表示で確認してください。

給排気について

- 給排気筒トップは給気・排気が十分できる場所に設置してください。給排気が不十分な場所に設置すると不完全燃焼の原因となります。

排気ガス

- 排気ガスが直接建物の外壁やアルミサッシなどに当たらないよう施工してください。外壁が変色したりアルミサッシが腐食したりするおそれがあります。
- 給排気筒トップの周囲には、排気ガスによって加熱されて困るもの（危険物・植物・ペットなど）を置かないでください。

地下水や井戸水の注意および温泉水使用不可

- この機器は上水道用です。地下水・井戸水（簡易水道を含む）を使用されると、水質によっては機器内の配管内部に異物が付着したり短期間で銅管を腐食させるなど、耐久性を損なう場合や、機器が正しく作動しないことがあります。地下水・井戸水（簡易水道を含む）を使用する場合は施工前に十分水質※を確認してください。ただし、地下水・井戸水（簡易水道を含む）には様々な成分が溶け込んでいる為、機器に対する影響は正確に判断できませんので、保証期間内でも有料修理となります。

※飲料水適合していることを原則として、硬度60 mg/ℓ以下・pH7～8・遊離炭酸4 mg/ℓ以下が望ましい。

- 温泉水は使用しないでください。

各部の名称とはたらき

■機器本体

給排気筒

フロントカバー

リモコン接続端子

追いだき戻り接続口

水抜き栓
機器の水を抜くときに外します (P. 26参照)

浴室リモコン
FC-630 別売選択必要品

台所リモコン
MC-630 別売品

増設リモコン
SC-630 別売品

水抜き栓 (給水口フィルター)
機器の水を抜くときに外します
(P. 26参照)

水抜き栓
機器の水を抜くときに外します
(P. 26参照)

給湯接続口 湯出口

給水接続口 水入口

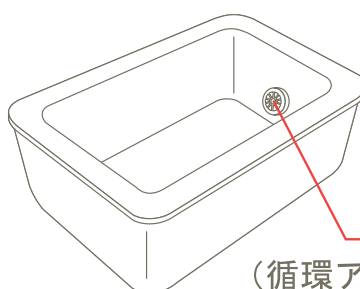
電源プラグ、電源コード

追いだき行き接続口

ガス接続口 ガス入口

リモコンコード 別売品

■浴 槽 (別売品)



循環口フィルター
(循環アダプター 別売品)

この機器の各部の名称とはたらきをご紹介します。

お使いいただく前に

標準タイプ以外のリモコンを取り付けている場合は、リモコン付属の取扱説明書をご覧ください。

■浴室リモコン (浴室についています) FC-630(別売選択必要品)

給湯やお風呂沸かしなど、すべての操作を浴室リモコンで行います。
通常はふたを閉じておいてください。

ふろ自動スイッチ

設定した温度・水位で自動的に
お風呂を沸かしします。
(→P. 13参照)

ふろ自動ランプ

ふろ自動運転中、沸き上げ中は赤、保温中は緑で点灯します。

追いだきランプ

追いだき中に橙で点灯します。

追いだきスイッチ

お風呂がぬるくて熱くしたいときに押します。
(→P. 18参照)

運転スイッチ

操作するとき最初に「入」にします。
(→P. 10参照)

スピーカー

設定の状態や注意事項などを警告音や音声でお知らせします。

呼び出しランプ

呼び出し中に緑で点灯します。

呼び出しスイッチ

浴室外にある台所リモコン等に呼び出しチャイムと呼び出し音声ガイドが流れます。

浴室リモコンのふたを開けると、以下のようなスイッチがあります。

ぬるくボタン

熱いお風呂をぬるくするときに押します。(→P. 19参照)

たし湯ボタン

お風呂のお湯を増やしたいときに押します。
(→P. 20参照)

優先ボタン

給湯温度調節の優先を、台所リモコンまたは浴室リモコンに切替えるときに押します。
(→P. 12参照)

上・下ボタン

ふろ温度・保温時間・ふろ水位・現在時刻・音量・予約時刻の調節をするときに押します。

給湯温度ボタン

給湯温度の調節をするときに押します。

設定ボタン

保温時間・ふろ水位・現在時刻・音量の設定を切替えるときに押します。
また、ボタンを長押しすると省電力モードになります。(→P. 23参照)

ふろ予約ボタン

お風呂沸かしの予約をしたいときに押します。
(→P. 21参照)



給湯燃焼表示・ふろ燃焼表示は左右に動いて、燃焼していることをお知らせします。

給湯燃焼表示・ふろ燃焼表示の補足説明



燃焼中は左右に動きます。

各部の名称とはたらき

■浴室リモコンの画面表示

浴室リモコンの画面表示には以下のようなものがあり、設定した内容を確認することが出来ます。

※図のリモコンの画面表示は説明用で、実際の運転状態を示すものではありません。

保温時間

お風呂の設定保温時間を表示します。

ふろ温度表示

お風呂の沸き上げ設定温度を℃で表示します。

ふろ燃焼表示

ふろ燃焼中に表示します。

たし湯表示

たし湯運転中に表示します。

ぬるく表示

ぬるく運転中に表示します。

ふろ水位表示

お風呂の設定水位を表示します。

予約時刻表示

お風呂が沸く時刻を表示します。

現在時刻表示

現在時刻を表示します。

給湯温度表示

給湯の設定温度を℃で表示します。

給湯燃焼表示

給湯燃焼中に表示します。

省電力ランプ

省電力機能の動作中に点灯します。

優先表示

浴室リモコンに優先があるとき表示します。

予約表示

予約スイッチが「入」のとき表示します。

■台所リモコン MC-630(別売品)

台所に設置して使用します。

給湯温度の設定や、ふろ沸かしの自動運転、予約運転などの操作が出来ます。

※図のリモコンの画面表示は説明用で、実際の運転状態を示すものではありません。

現在時刻表示

現在時刻を表示します。

予約時刻表示

お風呂が沸く時刻を表示します。

スピーカー

設定の状態や注意事項などを警告音や音声でお知らせします。

予約表示

予約スイッチが「入」のとき表示します。

ふろ自動スイッチ

ふろ自動運転をするときに押します。
(→P. 13参照)

ふろ燃焼ランプ

ふろ燃焼中に点灯します。

省電力表示

省電力機能の動作中に表示します。

給湯温度表示

給湯の設定温度を℃で表示します。

運転スイッチ

操作するとき最初に「入」にします。
(→P. 10参照)

優先表示

台所リモコンに優先があるとき表示します。

給湯温度ボタン

給湯温度の調節をするときに押します。

給湯燃焼ランプ

給湯燃焼中に点灯します。

台所リモコンのふたを開けると、以下のようなスイッチがあります。

ふろ予約ボタン

お風呂沸かしの予約をしたいときに押します。(→P. 21参照)

設定ボタン

現在時刻・音量の設定を切替えるときに押します。

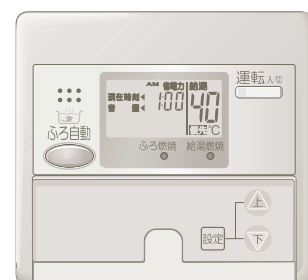
上・下ボタン

予約時刻・現在時刻・音量の調節をするときに押します。
※そのまま押すと、給湯温度の調節ができます。

■増設リモコン SC-630 (別売品)

浴室や台所以外の部屋から、運転スイッチの「入」/「切」、給湯温度調節、自動運転が操作できます。

各部のはたらきや使い方は台所リモコンと同じですが、ふろ予約運転は操作できません。



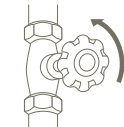
ご利用前の準備

はじめてお使いになるときは、まず屋内にある機器の準備をします。以下のような手順で準備ができれば、リモコンのスイッチを入れてみましょう。

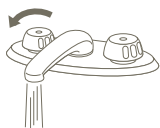
■機器の準備

1 機器や機器周辺の点検 確認を行います。
(→P. 30参照)

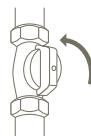
2 給水元栓を全開にします。
機器の下部にあります。



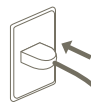
3 給湯栓を開け、水が出ることを確認したら閉じます。



4 ガス栓を全開にします。
機器の下部にあります。



5 電源プラグをコンセントに差し込みます。
コンセントは機器周辺にあります。



■リモコンを「入」にする

※電源投入後、リモコンが表示するまで多少時間がかかります。

※電源投入直後は、イラストの表示とは異なります。

1 浴室リモコンまたは台所リモコンの**運転スイッチ**を押します。

リモコンの画面に図のような表示と省電力ランプが点灯します。

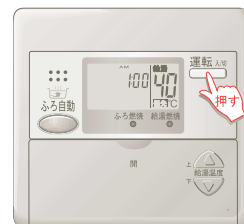
運転スイッチを押したリモコンには、優先表示が表示されます。

ふろ、給湯を使わないときは、**運転スイッチ**をもう一度押します。

リモコンが「切」の状態になり、画面表示が消えます。



浴室リモコン
画面表示
優先表示
省電力ランプ点灯



台所リモコン
画面表示
優先表示
液晶画面ライト点灯

■現在時刻を合わせる

※現在時刻合わせは、いずれかひとつのリモコンで操作します。

1 運転スイッチ「入」を確認します

〔浴室リモコン〕



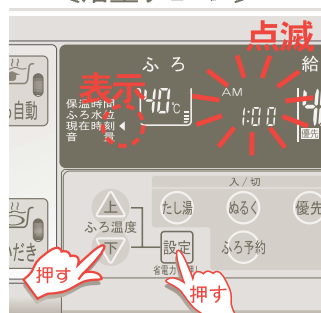
〔台所リモコン〕



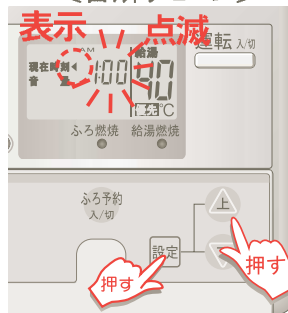
「入」になっていないときは、**運転スイッチ**を押します。

2 リモコンのふたを開けて、**設定ボタン**を押して現在時刻を設定します

〔浴室リモコン〕



〔台所リモコン〕



△ボタンは時刻が進みます。

▽ボタンは時刻が戻ります。

※ボタンを押し続けると連続的に数字が変わります。

設定ボタンを押し、△を現在時刻の右側に表示させ、現在時刻表示が点滅していることを確認します。音声ガイドが流れます。

“現在時刻です 上下ボタンで入力してください”

△または▽ボタンを現在時刻表示が点滅している間（約10秒間）に押してください。

△・▽ボタンで入力後、しばらくたつと確定となります。

音声ガイドが流れます。“現在時刻、セットされました”



●出荷時の時刻表示は「AM1:00」になっています。

●AM（午前）・PM（午後）に注意してください。

●設定時に△または▽ボタンを押さないでいると約10秒に確定となりますが、音声ガイドは流れません。

●初回の時刻合わせは、設定ボタンを1回押せば時刻合わせができます。その後時刻を直したい場合は、浴室リモコンは設定ボタンを3回台所リモコンは1回押してください。

お使いいただく前には
はじめて使うときは

お湯を使うには

1 運転スイッチ「入」を確認します

〔浴室リモコン〕 〔台所リモコン〕



「入」になっていないときは、
運転スイッチを押します。

2 給湯温度を調節します

〔浴室リモコン〕ふた開 〔台所リモコン〕ふた閉



給湯温度を調節するリモコンに優先
が表示されていることを確認します。
浴室リモコンはふたを開けます。
給湯温度 $\triangle$ ・ ∇ ボタンを押して
お好みの温度に設定します。

$\triangle$ ボタンは給湯温度が1段階ごと上がります。

∇ ボタンは給湯温度が1段階ごと下がります。

給湯温度は以下の14段階で設定できます。

ご使用の目安

(単位:°C)

37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	48	50	55	60
食器洗いなど	シャワー・給湯など			給湯など			給湯など			高温			

■:工場出荷時

3 給湯栓を開けます



浴室リモコンでは給湯燃烧表示 炎 が表示します。
台所リモコンでは給湯燃烧ランプが点灯します。

4 給湯栓を閉じます



浴室リモコンでは給湯燃烧表示 炎 が消えます
台所リモコンでは給湯燃烧ランプが消灯します。
ただし、他の給湯栓が使用中のときや、ふろ自動運転の
お湯張り中は消えません。

お湯を使うときの注意



警告

- 給湯、シャワー等を使うときは、給湯温度を確認し、手で温度を確かめてから使う。確認をおこたるとやけどのおそれがあります。
- シャワー使用中に優先を切替えない。台所リモコンで給湯温度調節を行うと、シャワーの温度が急変し、危険です。必ず、浴室リモコンを優先にして、給湯温度を確認してから使用してください。



ご注意ください

- 給湯栓を閉じても機器の燃烧用ファンがしばらく回転しますが、故障ではありません。
- 表示している温度と給湯栓から出る湯温は、配管の長さや外気温等により必ずしも一致しません。表示温度は目安としてお考えください。
- 使いはじめは給湯配管の水が流れ出るまでしばらくお湯が出ません(配管の長さによりお湯が出るまでの時間が異なります)。
- 給湯栓をしぼり過ぎると、熱いお湯が出たり、燃烧が停止して水になることがあります。
- 水温が30°C近くになる夏期では、低温にセットしても給湯栓の湯量が少なく、給湯温度が高くなります。この場合は給湯栓をさらに開けて湯量を多くするか、水と混合してお使いください。
- 給湯およびシャワーを使用中にふろ自動運転(保温を除く)やたし湯運転をすると、ふろ設定温度でお湯が出ます。
- お湯を使用中に、ふろ自動・たし湯運転をするとお湯の量が減る場合がありますが故障ではありません。



おふろのシャワーや上がり湯のほか、台所や洗面所などで使う給湯の操作について説明します。
給湯は、浴室リモコン、台所リモコン、また増設リモコンのいずれからでも操作できます。

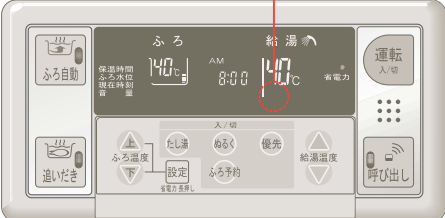
給湯温度を調節するときの注意

！ご注意ください

お願い

- 50℃、55℃、60℃に給湯温度を設定するとチャイムが鳴り、音声ガイドが“熱い温度にセットされました 注意してください”とお知らせします。
- ふろ自動運転のお湯張り中（追いだき中）・たし湯・ぬるく運転中は、台所リモコンの給湯温度△または▽ボタンや、浴室リモコンの給湯温度△または▽ボタンを押すと“ピッピッピ”と警告音が鳴り、給湯温度の設定はできません。
- 55℃以下の温度でシャワーや給湯を使っているときは、やけど防止のため60℃には設定変更ができません。60℃に設定しようすると“ピッピッピ”と警告音が鳴って受け付けません。設定したいときは、一旦出湯を止めてから行ってください。また、設定するときには他の場所で給湯が使われていないか、よくご確認ください。
- 通常、給湯温度は運転スイッチを「切」にしても記憶されていますが、給湯温度を60℃に設定したときはやけど等の危険防止のため、再度運転スイッチを入れたとき自動的に55℃にセットされます。
- はじめてお使いのときや停電時、電源プラグを抜いた場合など、30分以上通電が止まって再通電したときは、給湯温度表示が40℃になります。再度セットし直してください。

■優先切替について 給湯温度が調節できるリモコンを「優先」と呼び、リモコンのどちらか一方を優先にできます。また、優先を切替えることを「優先切替」といいます。

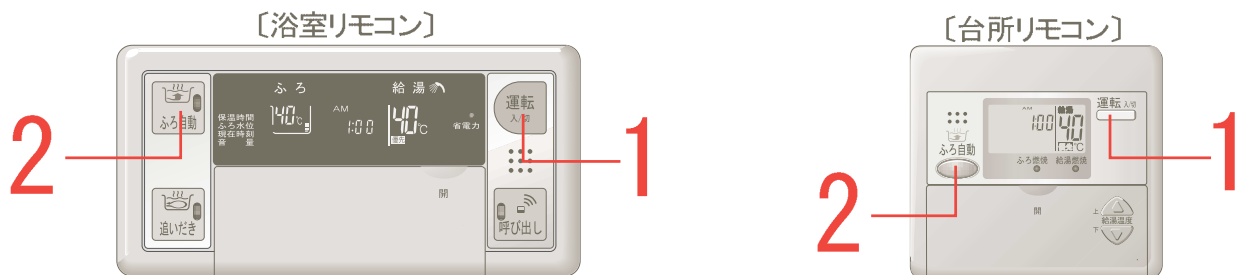
給湯温度を調節できない場合 ▶ 優先切替を行う（調整可能） ▶ 給湯温度を調節できる状態	
浴室リモコン（ふた開）	優先が表示されていない  優先が表示されていない いずれかの操作で優先を切替えます 1. 優先ボタンを押します 押すごとに浴室リモコン⇄台所リモコンと切り替わり音声ガイドが流れます 浴室優先あり “給湯温度、浴室優先です” 浴室優先なし “給湯温度、台所優先です” 2. 給湯温度△または▽を押します 優先表示あり 
台所リモコン	優先が表示されていない  優先が表示されていない 給湯温度ボタンを押すと“ピッピッピ”と警告音が鳴り、音声ガイドが“給湯温度、浴室優先です 運転スイッチを入れ直してください”とお知らせします。 運転スイッチを一度「切」にし、再度「入」にする ※ふろ自動・追いだき運転などが運転中の場合は、停止します。停止させたくない場合は浴室リモコンの優先ボタンで切替えてください。 優先表示あり 



- 給湯優先切替え時には、55℃より高い設定温度にはなりません。優先を切替えたとき、切替え前の給湯温度が60℃だった場合、自動的に55℃にセットされます。
- 浴室リモコン・台所リモコンの給湯優先切替え時に、設定温度が50℃以上の場合“熱い温度にセットされました注意してください”とお知らせします。音声（いずれかのスイッチを押すと、止まります）。
- 別売の増設リモコン（SC-630）を設置している場合
 - ・ 台所リモコンが優先のときは、増設リモコンも優先となります。
 - ・ 増設リモコンと台所リモコンは連動しています。増設リモコンの運転スイッチを「入」にすると、増設リモコンと台所リモコンに優先表示され、増設リモコンでも給湯温度を設定できます。給湯温度は設定したリモコン側の温度になります。

自動でお風呂を沸かすには

はじめてお使いのときはふろ温度：40℃、ふろ水位は水位バー4：180ℓ、保温時間：4時間の設定です。
ふろの温度や水位、保温時間を変更したいときはP. 15～P. 16をご覧ください。



準備 浴槽の排水栓をして
ふたをします

1 運転スイッチを
「入」にします

〔浴室リモコン〕 〔台所リモコン〕



リモコンの画面が表示
されます。

2 ふろ自動スイッチを押します

〔浴室リモコン〕



浴室リモコンではふろ自動ランプが赤で点灯し
が以下の表示を繰り返します。



〔台所リモコン〕

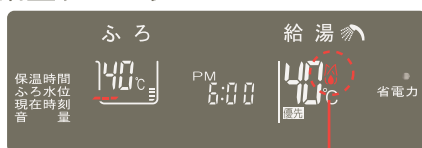


台所リモコンではふろ自動スイッチが赤で点
灯します。

音声ガイドが流れます。
“お湯張りを始めます おふろの栓はしま
したか”

2-1 お湯張りを開始します。

〔浴室リモコン〕



お湯張り中表示

〔台所リモコン〕

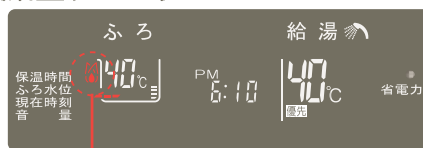


お湯張り中点灯

設定水位に近くなると、各リモコンから
チャイムが鳴り、音声ガイドが流れます。
“もうすぐお風呂に入れます”

2-2 お湯張りが終わると沸かし上げます。

〔浴室リモコン〕



沸かし上げ中表示

〔台所リモコン〕

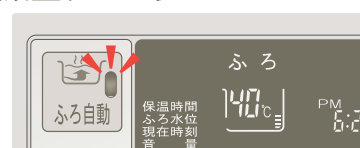


沸かし上げ中点灯

設定された温度に沸き上がると、
各リモコンからチャイムが鳴り、音声ガ
イドが流れます。
“お風呂が沸きました”
給湯温度が50℃以上に設定されている
場合は浴室リモコンのみ音声ガイドが
“熱い温度にセットされました 注
意してください”と流れます。

2-3 保温に入ります。

〔浴室リモコン〕



ふろ自動ランプが緑で点灯

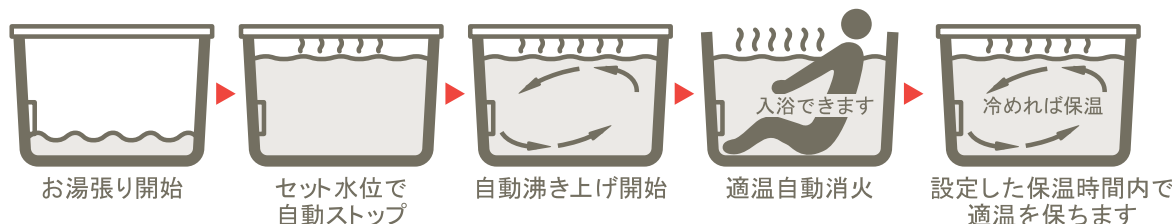
〔台所リモコン〕



ふろ自動スイッチが緑で点灯

おふろの温度が下がると、おふろを
沸かして保温します。
保温時間が終了すると浴室リモコ
ンのふろ自動ランプ、台所リモコン
のふろ自動スイッチが消灯します。

お風呂に水を入れて沸かし、ぬるくなったらまた沸かす。という浴室を行ったり来たりする面倒な作業はもうありません。「ふろ自動運転」により、スイッチをワンタッチするだけで簡単にお風呂が沸かせます。



お風呂沸かしを途中で停止したいときは

もう一度、ふろ自動スイッチを押します。自動ランプが消灯して、お風呂沸かしが停止します。

■沸かし直しをするには

「自動でお風呂を沸かすには」の項1から2-3 (P. 13)と同じ操作で行います。

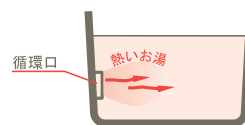
また、「お風呂のお湯を熱くするには (追いだき)」(P. 18 参照)でも行うことができます。(たし湯は行いません)

・残り湯の水位が浴槽の循環口の位置より低い場合は、設定量より残り湯の分だけ水位が増えますので、浴槽のあふれには注意してください。



・残り湯の水位が浴槽の循環口の位置より高い場合は、たし湯量がばらつくことがあります。特に残り湯がセット水位付近のときは「お風呂のお湯を熱くするには (追いだき)」(P. 18)と同じ操作で行ってください。残り湯が設定水位付近でふろ自動運転を行うとあふれるおそれがあります。

また、追いだき・たし湯中は循環口から高温の湯が出ることがありますので、ご注意ください。



・残り湯と設定温度の差が少ない(約7℃未満)場合、お湯張りをしないときがあります。その場合は希望の水位まで給湯栓からお湯を入れるか、たし湯ボタンを押してたし湯してください。

警告 ●お風呂の沸かし上げ中や保温中は、突然循環口より熱いお湯が出たり、循環口の周囲が熱くなっていることがあるので注意する。やけどのおそれがあります。

●入浴の際には念のためよくかきまぜて、湯かげんを手で確かめる。確認をおこたるとやけどのおそれがあります。

!! ご注意ください

●以下の場合“もうすぐお風呂に入れます”の音声ガイドが流れません。

1. 予約運転でふろ自動運転を行ったとき。
2. 残り湯があつてふろ自動運転を行ったとき。

●自動でお風呂を沸かしているとき停電になるとふろ自動運転が停止し、循環口からの湯が止まります。上記「沸かし直しをするには」の項をご覧ください。再度お風呂を沸かし直してください。

お願い

●排水栓をし忘れると、ふろ自動運転中、浴室リモコンに“252”が点滅し運転が停止します。この場合は、排水栓をして運転スイッチを「切」にし、3秒以上経過してから再度運転スイッチを「入」にしてふろ自動運転を行ってください。



●ふろ自動運転のお湯張り中に台所や洗面所などでお湯を使うと、ふろ設定温度でお湯が出ます。

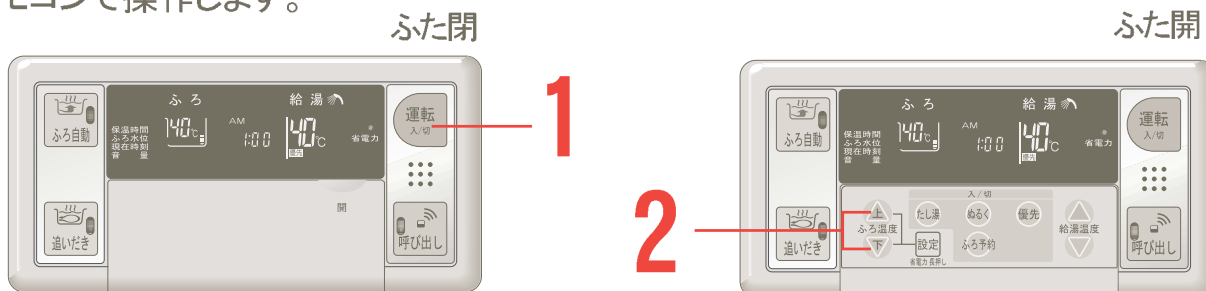
●ふろ自動運転のお湯張り中に、循環口からお湯が出たり止まったりすると共に浴室リモコンの給湯燃焼表示(台所リモコンは給湯燃焼ランプ)がついたり消えたりすることは異常ではありません。

●残り湯がある場合は、すぐにお湯張りを始めません。これは残り湯の水位を機器が確認するためで異常ではありません。

●保温時のお風呂沸かしは、気温等により約15～30分の間隔で行います。

ふろ温度・保温時間・ふろ水位をセットするには

浴室リモコンで操作します。



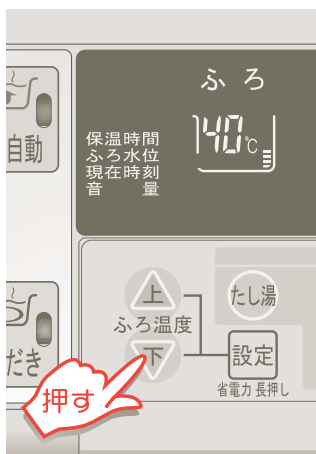
ふろ温度の設定

1 運転スイッチ「入」を確認します



「入」になっていないときは、運転スイッチを押します。

2 リモコンのふたを開け、ふろ温度を設定します



ふろ温度 Δ ・ ∇ ボタンを押して
お好みの温度に設定します。

Δ ボタンは温度が上がります。
 ∇ ボタンは温度が下がります。

ふろ温度は以下の12段階で設定できます。

ご使用の目安 (単位:℃)

37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48
ぬるい			標準			あつい					

■:工場出荷時

保温時間の設定

1 運転スイッチ「入」を確認します



「入」になっていないときは、運転スイッチを押します。

2 リモコンのふたを開け、設定ボタンを押します



設定ボタンを押し、 Δ を保温時間の
右側に表示させ、保温時間表示が
点滅していることを確認します。
音声ガイドが流れます。
“保温時間で 上下ボタンで
入力してください”

3 保温時間を設定します



Δ ・ ∇ ボタンを保温時間
表示が点滅している間(約
10秒間)に押します。

Δ ボタンは保温時間が長くなります。
 ∇ ボタンは保温時間が短くなります。

0	1	2	3	4	5	6	7	8
---	---	---	---	---	---	---	---	---

(単位:時間)

■:工場出荷時

※保温しない場合は、“0”に設定してください。

Δ ・ ∇ ボタンで入力後、しばらくたつと
確定となります。

音声ガイドが流れます。
“保温時間、セットされました”

ふろ水位の設定

1 運転スイッチ「入」を確認します



「入」になっていないときは、運転スイッチを押します。

2 リモコンのふたを開け設定ボタンを押します



設定ボタンを押し、◀をふろ水位の右側に表示させ、水位バーが点滅していることを確認します。音声ガイドが流れます。
“ふろ水位です 上下ボタンで入力してください”

3 ふろ水位を設定します



△・▽ボタンを水位バーが点滅している間（約10秒間）に押します。

△ ボタンは水位が高くなります。

▽ ボタンは水位が低くなります。

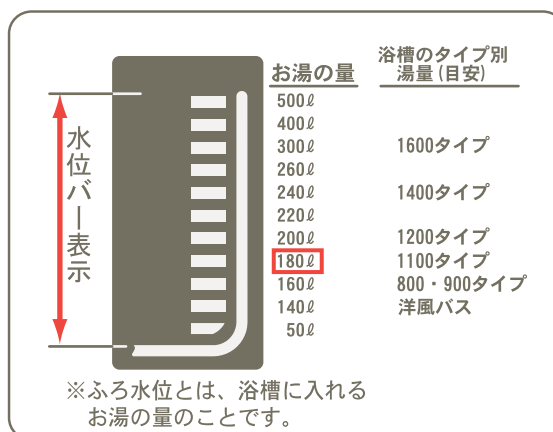
（水位につきましては下記ふろ水位の目安をご参照ください）

△・▽ボタンで入力後、しばらくたつと確定となります。

音声ガイドが流れます。

“ふろ水位、セットされました”

ふろ水位の目安 □：工場出荷時



お願い

- 浴槽の種類や施工条件によって、水位を高めにセットするとあふれる場合があります。最初は工場出荷時の設定で試して、そのときの実際の水位を確認してからお好みの水位に調節することをお勧めします。
- 表示される温度と水位は、浴槽の形状等により実際とは多少異なる場合があります。表示は目安としてお考えください。
- 設定は記憶されるので、次回からはセットする必要はありません。ただし、電源プラグを抜いたり停電などによって30分以上通電がない場合は、再セットが必要です。
- 設定時に△または▽ボタンを押さないでいると約10秒後に確定となりますが、音声ガイドは流れません。
- 保温中でもふろ温度の設定を変更することができます。



チャイムや音声ガイドの音量を調節する

音量の設定

1 運転スイッチ「入」を確認します

〔浴室リモコン〕



〔台所リモコン〕



「入」になっていないときは、**運転スイッチ**を押します。

2 リモコンのふたを開け、設定ボタンを押します

〔浴室リモコン〕



〔台所リモコン〕



設定ボタンを押し、◀を音量の右側に表示させ、音量表示が点滅していることを確認します。

音声ガイドが流れます。

“音量です 上下ボタンで入力してください”

3 音量を設定します

〔浴室リモコン〕



〔台所リモコン〕



▲・▼ ボタンを音量表示が点滅している間（約10秒間）に押します。

▲ ボタンは音量が大きくなります。

▼ ボタンは音量が小さくなります。

0（無音） 1（小） 2（中） 3（大） ■：工場出荷時

▲・▼ ボタンで入力後、しばらくたつと確定となります。

音声ガイドが流れます。

“音量、セットされました”



- 設定した音量は、**運転スイッチ**を「切」にしても記憶されています。
- 設定時に▲または▼ボタンを押さないでいると約10秒後に確定となりますが、音声ガイドは流れません。
- 音量を無音に設定すると音声ガイドは流れません。ただし、浴室リモコンで**呼び出し**スイッチが押されたときの呼び出し音声ガイドは音量“小”で台所リモコン（増設リモコン）より流れます。
- スイッチやボタン操作時の音・警告音“ピッピッピッ”の音は調節できません。
- 設定ボタンを順に押して「保温時間」「ふろ水位」「音量」を続けてセットすることもできます。セットすると音声ガイドが“保温時間、ふろ水位、現在時刻、音量セットされました”と設定した項目についてお知らせします。
- 上記のように続けてセットする場合、設定ボタンは以下のように操作します。

設定ボタン → 1回押す → 2回目 → 3回目 → 4回目
保温時間 ふろ水位 現在時刻 音量

お風呂のお湯を熱くするのは（追いだき）

浴槽のお湯がぬるくなったら、熱くすることができます。この機能を「追いだき」といいます。
浴室リモコンで操作します。



1 運転スイッチ「入」を確認します



「入」になっていないときは、
運転スイッチを押します。

2 追いだきスイッチを押します



追いだきランプ（橙）が点灯します。
しばらくして、ふろ燃烧表示（炎）と が表示され追いだきを
開始します。

は以下の表示を繰り返します。
 → → → 消灯 →

運転が終了すると追いだきランプが消え、ふろ燃烧表示（炎）と
 も消えます。

もっと熱くしたいときには

もう一度、追いだきスイッチを押します。
お好みの湯かげんになったら、追いだき
スイッチを押して停止してください。

追いだき運転中に停止させるには

もう一度、追いだきスイッチを押します。
追いだきランプとふろ燃烧表示（炎）、 が
消灯して、追いだきが停止します。

⚠ 注意 ● 追いだきの操作をするときには、浴槽の循環口より上に湯（水）があることを確認する。

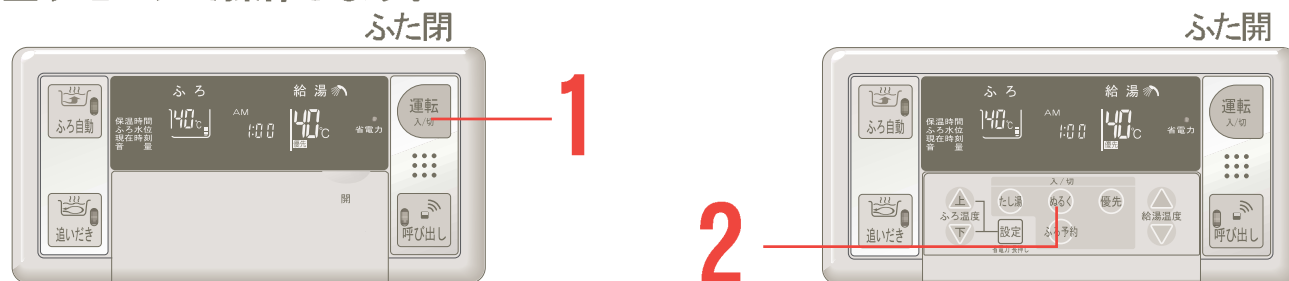
お願い ● 追いだきスイッチは長く（5秒以上）押さないでください。入浴中に追いだきスイッチを5秒以上押し続けると、長期間使用しない場合の機器の水を抜くための状態となります。（P. 26参照）浴室リモコンに「032」が点滅し運転を停止します。誤って押し続けた場合は運転スイッチを「切」にして、3秒以上経過してから再度「入」にしてください。

×モ ● 追いだきで停止の操作をしない場合は、現在温度+2°Cで沸き上げて自動的に停止します。ただし、沸き上げた温度（現在温度+2°C）が設定温度に達しない場合は設定ふろ温度まで沸き上げて自動的に停止します。
● ふろ自動運転中のお湯張り中（追いだき中）は、追いだきスイッチを使用できません。押すと“ピッピッピ”と警告音が鳴ります。

お風呂のお湯をぬるくするのは

浴槽のお湯が熱くてぬるくしたい場合は、「ぬるく運転」が便利です。この機能では、自動的に水（約12ℓ）を入れかへんを行います。

浴室リモコンで操作します。



1 運転スイッチ「入」を確認します



「入」になっていないときは、運転スイッチを押します。

2 リモコンのふたを開け、ぬるくボタンを押します



ぬるくが表示されます。

しばらくして、が表示されぬるく運転を開始します。約12ℓの水を入れて、かへはんしてから自動停止します。

は以下の表示を繰り返します。

 →  →  → 消灯 → 

運転が終了するとぬるく表示が消え、も消えます。

もっとぬるくしたいときには

もう一度、ぬるくボタンを押します。お好みの湯かげんになったら、ぬるくボタンを押して停止してください。

ぬるく運転中に停止させるには

もう一度、ぬるくボタンを押します。ぬるく表示と  が消灯して、ぬるく運転が停止します。

! ご注意ください

●ぬるく運転に給湯栓（シャワーを含む）を開けると水が出てきます。このとき給湯燃焼はしません。

お願い

●ぬるくボタンは長く（5秒以上）押さないでください。入浴中にぬるくボタンを5秒以上押し続けると、ポンプ運転を行います。誤って押し続けた場合は、再度ぬるくボタンを押してください。ポンプ運転が停止します。

×モ

●ぬるく運転では自動的に約12ℓの水を入れます。途中で湯かげんを確かめてください。

●ふろ自動運転のお湯張り中（追いだき中）はぬるくボタンを使用できません。押すと“ピッピッピッ”と警告音が鳴ります。給湯燃焼表示  またはふろ燃焼表示  が消えてからぬるくボタンを押してください。お湯の使用中也ぬるくボタンを使用できません。

お風呂のお湯をたしたいときは

浴槽のお湯の量を増やしたいときは、「たし湯運転」があります。この機能では、自動的に「ふろ温度」設定のお湯を約24ℓ入れかきはんを行います。

浴室リモコンで操作します。

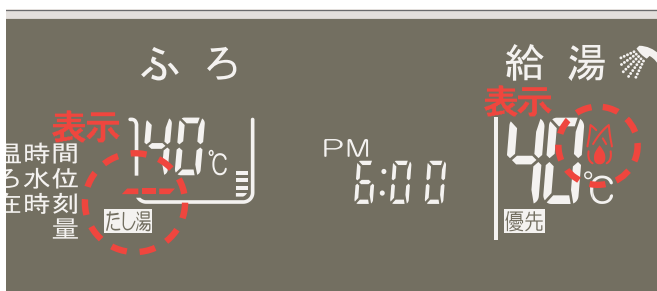


1 運転スイッチ「入」を確認します



「入」になっていないときは、運転スイッチを押します。

2 リモコンのふたを開け、たし湯ボタンを押します



たし湯が表示がされます。

給湯燃焼表示 と が表示され、たし湯運転を開始します。約24ℓの湯を入れて、かくはんしてから自動停止します。

は以下の表示を繰り返します。

→ → → 消灯 →

運転が終了するとたし湯表示が消え、給湯燃焼表示 と も消えます。

もっとたしたいときには

もう一度、たし湯ボタンを押します。お好みの湯量になったら、たし湯ボタンを押して停止してください。

たし湯運転中に停止させるには

もう一度、たし湯ボタンを押します。たし湯表示、給湯燃焼表示 、 が消灯して、たし湯が停止します。

！ ご注意ください

- たし湯運転中は、給湯栓から出るお湯の温度がふろ設定温度になります。このとき、給湯温度の表示は変わりません。
- たし湯運転中に給湯栓を開けたときや給湯使用中にたし湯を開始すると、給湯栓から出るお湯の温度はふろ温度になります。給湯設定温度に戻すには、給湯を一旦停止してたし湯終了後再度給湯栓を開けてください。給湯温度が50℃以上の場合にはチャイムが鳴り、音声ガイドが“熱い温度にセットされました 注意してください”とお知らせします。
- ふろ自動運転のお湯張り中（追いだき中）は、たし湯ボタンを使用できません。押すと“ピッピッピッ”と警告音が鳴ります。



お風呂が沸く時刻を予約するには

お風呂の沸き上がり時間を予約することが出来ます。
予約の設定は予約時刻の60分前までに設定してください。

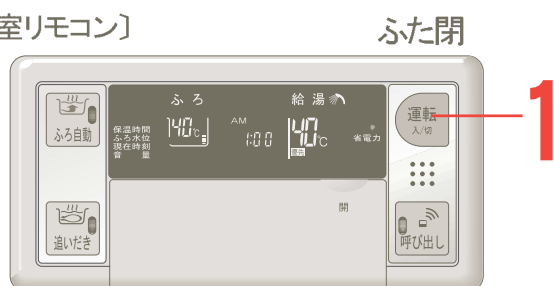
予約運転を行うときは、毎回以下のことを確認してください。

- 浴槽の排水栓が閉じており、お風呂のふたがしてあることを確認。
- 現在時刻があっているかを確認。(P. 10参照)
- 予約時刻を確認。(P. 22参照)
- ふろ温度・保温時間・ふろ水位の設定を確認。(P. 15～16参照)



■ 予約運転を開始する お風呂の沸き上げ完了する時刻をセットし、予約を開始します。

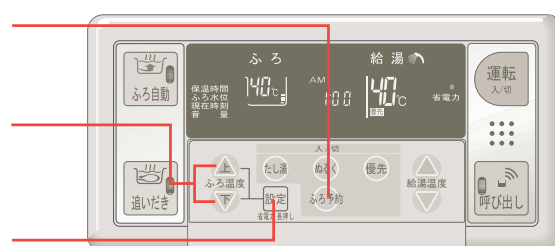
〔浴室リモコン〕



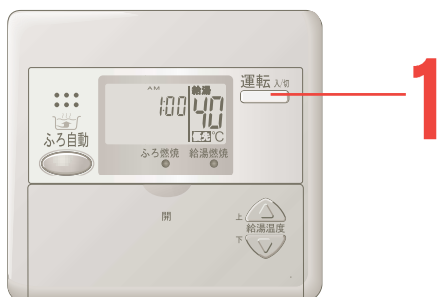
ふた閉

2
3
4

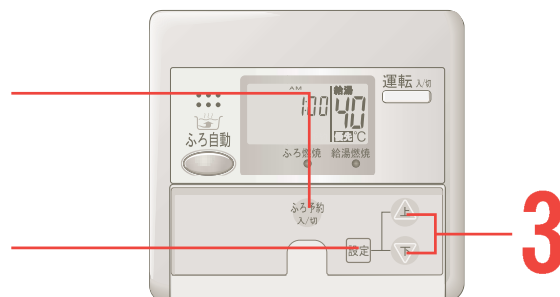
ふた開



〔台所リモコン〕



2
4



準備

浴槽の排水栓をしてふたをします

①浴槽の排水栓をします。 ②浴槽のふたをします。



1

運転スイッチ「入」を確認します。

〔浴室リモコン〕



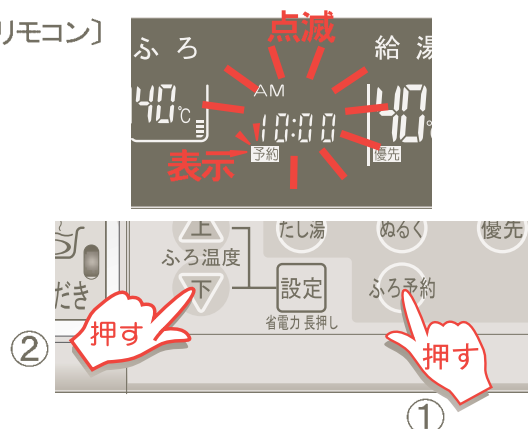
〔台所リモコン〕



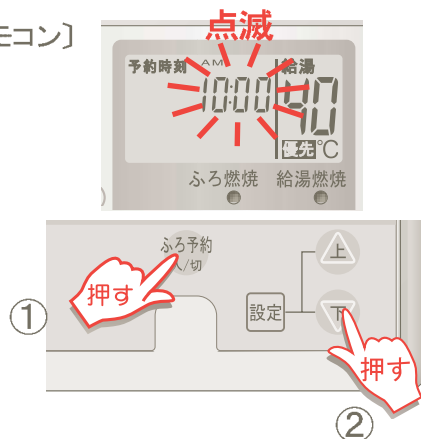
「入」になっていないときは、運転スイッチを押します。

2 リモコンのふたを開け、ふろ予約ボタンを押し、予約時刻を設定します

〔浴室リモコン〕



〔台所リモコン〕



予約時刻表示が点滅していることを確認します。音声ガイドが流れます。

“予約時刻を変更する場合は、上下ボタンで入力して、設定ボタンを押してください”

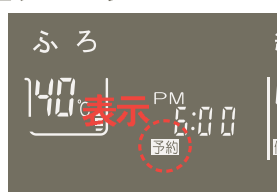
△・▽ボタンを予約時刻表示が点滅している間（約10秒間）に押してください。

△ボタンは予約時刻が進みます。

▽ボタンは予約時刻が戻ります。

※ボタンを押し続けると連続的に数字が変わります

〔浴室リモコン〕



〔台所リモコン〕



予約時刻の設定後、設定ボタンを押すか5秒以上何もスイッチやボタンを押さないでいると確定となります。

音声ガイドが流れます。

“予約されました おふろの栓はしましたか”

予約表示が表示され、予約時刻表示が点滅から点灯に変わり現在時刻に戻ります。

予約の設定は予約運転ごとに毎回行ってください

予約を取消したいときは ※リモコンの運転スイッチの「入」/「切」に関係なく操作ができます

もう一度、ふろ予約ボタンを押します。音声ガイドが流れます。“予約、解除されました”

リモコンの予約表示が消えて予約が取消されます。

すでにおふろ沸かしが始まってふろ自動ランプが点灯しているときにはふろ自動スイッチを押してください。運転が停止します。



- 予約運転の沸き上がり完了時刻は、予約運転中のお湯の使用や残り湯があるとき、また気温によって多少前後する場合があります。
- 出荷時の予約時刻はPM6:00になっています。
- 設定時に△または▽ボタンを押さないでいると約10秒後に確定となります。
- 予約時刻は記憶されますので毎回セットする必要はありません。ただし、停電や電源プラグを抜いた場合など30分以上通電が止まり、再通電したあとは工場出荷時の初期設定になります。必ず再セットをしてください。
- 浴室リモコンに予約表示が表示されたあとは、運転スイッチを「切」にしても予約運転は行われます。また予約「入」かつ、運転「切」の状態でもふろ予約ボタンを押すと予約は解除されます。

省電力機能について

浴室リモコンと台所リモコンの画面表示を、何も操作しないときは表示しないようにするのが「省電力モード」です。このモードを使うことで電気の節約になります。

浴室リモコンで操作します。工場出荷時は省電力モードに設定されています。

1 運転スイッチ「入」を確認します



「入」になっていないときは、運転スイッチを押します。

2 リモコンのふたを開け、設定ボタンを5秒以上押し続けます



浴室リモコンのふたを開け、設定ボタンを5秒以上押し続けます。
音声ガイドが流れます。
“省電力、セットされました”

浴室リモコン→省電力ランプが点灯します。

台所リモコン→省電力表示が表示されます。

その後、5分以上何もスイッチおよびボタン操作がない場合

浴室リモコン→ 省電力ランプ以外のすべての画面表示が消えます。

台所リモコン→ 液晶表示画面のライトが消えます。

※下記の場合、省電力モードでも画面表示します。

- ・他の場所でお湯を使用しているとき
- ・給湯温度が50℃以上に設定されているとき
- ・ふろ自動運転中および保温中（最長8時間）

省電力モード中に画面を表示させるには各スイッチおよびボタンを押すと通常表示になります。

❗ ご注意ください



これらのスイッチを押すと省電力モードが解除されると同時に運転が開始します。

省電力モードを解除するには

左記操作で通常運転させ、設定ボタンを5秒以上押し続けます。省電力ランプが消灯し、省電力モードが解除され、音声ガイドが流れます。

“省電力、解除されました”

- ・台所リモコン、増設リモコンも同時に省電力モードは解除されます。
- ・運転スイッチの「入」/「切」では省電力モードは解除されません。

お願い

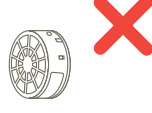
- 省電力機能で画面が消えている（台所リモコンでは液晶表示画面のライトが消えている）ときに給湯・シャワーを使うときは、一度画面表示をさせて給湯温度を確認してからご使用ください。
- ふろ自動・追いだき・呼び出しスイッチ以外のボタンは、画面が消えている状態では受け付けません。ふろ自動・追いだき・呼び出しスイッチ以外のボタンを使用するときは、上記の方法で一度画面を表示させてから行ってください。



- 省電力機能で画面が消えている（台所リモコンでは液晶表示画面のライトが消えている）とき給湯の優先が浴室リモコンにあって台所リモコンに優先を移す場合は、次の手順で行ってください。
 - ①台所リモコンの運転スイッチを押して液晶画面のライトを点灯させ、もう一度運転スイッチを押して運転「切」にします。
 - ②再度、運転スイッチを押して運転「入」にします。台所リモコンが優先となります。
- 省電力のまま運転スイッチを「切」にしても省電力モードは解除されません。

残り湯を洗濯機などに利用する(ポンプ運転)

浴槽の残り湯は、洗濯機などに注水することができます。この機能を「ポンプ運転」といいます。
※水道ホース差込型(TP-S150、TP-S52タイプ)の循環口が取り付けられている浴槽のみ、利用できます。

利用できます		利用できません
		
水道ホース差込型(TP-S52タイプ)	水道ホース差込型(TP-S150タイプ)	(TP-S100タイプ)

浴室リモコンで操作します。

準備 ポンプ運転の準備をします



循環口のホース差込み口にビニールホース(内径15mm)を差し込みます。

※ホースは5mまでとしてください

1 運転スイッチ「入」を確認します



「入」になっていないときは、運転スイッチを押します。

2 リモコンのふたを開け、ぬるくボタンを(5秒以上)長押しします



ポンプ表示が表示され、ポンプが運転して注水を始めます。ポンプ運転は約15分後に自動停止します。

ポンプ運転を停止するには

もう一度、ぬるくボタンを押します。

ポンプ表示が消灯し、ポンプ運転(注水)が停止します。

お願い

- ポンプ表示点灯中は、ふろ自動・追いだき・たし湯・ぬるく・予約運転はできません。その場合“ピッピッピ”と警告音が鳴ります。
- ふろ自動・追いだき・たし湯・ぬるく運転中は、ぬるくボタンを長押ししても動作しません。その場合“ピッピッピ”と警告音が鳴ります。
- ふろ自動保温中にぬるくボタンを押すとチャイムが鳴り、機能を受付けますが、5秒以上押し続けると“ピッピッピ”と警告音が鳴りポンプ運転は動作しません。この後、ぬるくボタンを放しても、ぬるく運転は動作しません。
- 循環口付近まで注湯すると、循環不可能になり、ポンプ動作が終了し、ポンプ表示が消灯します。
- 別売の洗濯注湯ユニット、または洗濯&トイレ注水ユニットを取り付けている場合は、洗濯注湯ユニット、洗濯&トイレ注水ユニットの取扱説明書をご覧ください。
- 水道ホース差込型(TP-S150タイプ、TP-S52タイプ)を取り付けている場合でも、条件によっては利用できない場合があります(例えば、洗濯機の設置場所によっては、利用できない場合があります)。

冬期の凍結予防をするには

■凍結予防装置による方法

通常の寒さのとき（外気温－15℃程度まで）

機器の電源プラグは、抜かないでください

機器には、気温が下がってくると自動的に機器内を保温する凍結予防ヒータと浴槽の水（湯）を循環（ポンプ運転）して、ふろ配管の凍結を予防する凍結予防装置がついています。電源プラグを抜いたり電源ブレーカーを切ると凍結予防装置がはたらきません。



- ・凍結予防装置は、運転スイッチの「入」／「切」に関係なく作動します。
- ・給水・給湯配管およびふろ配管は凍結することがあります。配管は必ず保温材または電気ヒータを巻くなど地域に応じて処置をしてください。

浴槽の水（湯）は循環口上部より5 cm以上高い位置にする

- ・浴槽の水（湯）を循環し、凍結予防をするため浴槽の残り湯は捨てずそのままにしておいてください。

お願い ●お使いになるときは、給湯栓を開けて水が出ることを確認してから、運転スイッチを「入」にしてください。

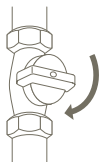
■給水・給湯配管を凍結させないために

この方法は機器本体だけでなく、給水・給湯配管やバルブ類および給湯栓の凍結予防に有効です。

- 1 運転スイッチを押してリモコンを「切」にします。



- 2 ガス栓を閉じます。



- 3 浴室の給湯栓を開け、1分間に400cc程度の水を流し続けます。流量が不安定なことがありますので、念のため約30分後にもう一度流量を確認してください。



●給湯栓の水を流す方法で凍結予防をしているときは、家の人に凍結予防のために水を流していることをお知らせください。水を止めると凍結します。

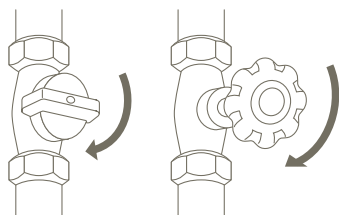
凍結を予防するための操作について説明します。

■機器の水を抜く方法

寒波などで特に寒くなりそうなとき（外気温が -15°C より低い場合）や入居前や長期不在で家の電気ブレーカーを「切」にする場合、電源プラグを抜く必要がある場合には、この方法で凍結予防をします。水抜き後は、次にお使いになるまでそのままにしておいてください。

⚠ 注意 ● 使用後すぐに水抜きをしない。やけどのおそれがあります。
機器やお湯が高温になっていますので冷えてから行ってください。

- 1 ガス栓（1）
給水元栓（2）を
閉じます。



- 2 浴槽の水を完全に排水します。

- 3 浴室リモコンの運転スイッチを押して
「入」にします。

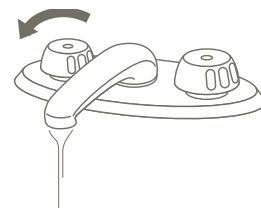
- 4 追いだきスイッチを「ピッピッ」と鳴るまで
5 秒以上押し続けます。
（追いだきランプが点滅します）



循環口から排水していることを確認します。

※浴槽の水が排水されていないと浴室リモコンに「032」が点滅します。再度、浴槽の水が排水されているか確認してください。

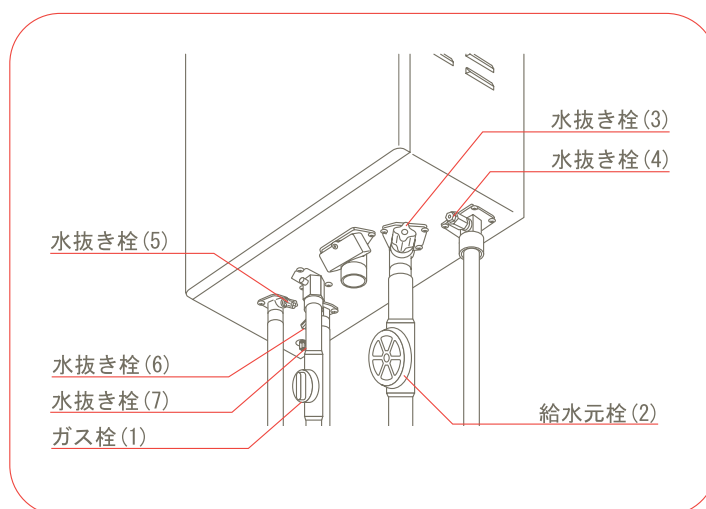
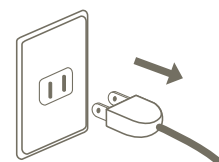
- 5 すべての給湯栓を
全開にします。



- 6 給湯側水抜き栓（3）（4）を外します。

- 7 追いだき側水抜き栓（5）（6）（7）を
水が出るまでゆるめます。

- 8 「4」の操作から約5 分後、電源プラグ
を抜きます。
（電源プラグを抜き忘れますと機器
の故障の原因となります）



- お願い** ● 水抜きをするとき床などに水が流れては不都合な場所では、あらかじめ容器を用意して水を受けてください。
- 水抜きをした後は浴槽へ水を流しこまないでください。
- 別売のユニットを取付けている場合の水抜き方法については、ユニットに付属の取扱説明書も併せてご覧ください。
- 外した水抜き栓は再使用するときまで、なくさないように保管してください。

冬期の凍結予防をするには

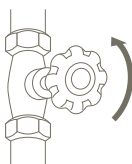
■再使用するとき

機器内の水を排水したあと、しばらくして再度使用するときは次の操作をしてください。

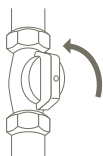
- 1 水抜き栓 (3) (4) (5) (6) (7) およびすべての給湯栓を閉じます。



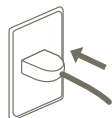
- 2 給水元栓 (2) を開けた後、機器や配管より水漏れがないか確認してください。また、すべての給湯栓を開けて水が出ることも確認してください。



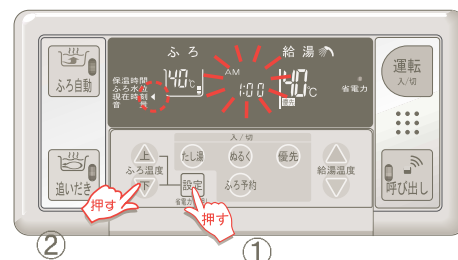
- 3 ガス栓 (1) を開けます。



- 4 電源プラグを差し込みます。



- 5 運転スイッチを「入」にします。
リモコンで、ふろ温度・ふろ水位・保温時間・給湯温度・現在時刻・予約時刻等を設定し直します。
(→P. 10～参照)



- 6 ふろ自動運転を行い、浴槽に湯を張り水位などを確認します。(再度、水漏れがないか確認してください)

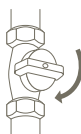
※循環口からお湯が出ることを確認してください。
しばらく(1分程度)してもお湯が出ない場合は、ふろ自動運転を中止してください。

- お願い** ●再使用するときは、水抜き栓を元通りに確実に閉じてください。閉じかたが不十分だったり閉じ忘れたりすると、そこから水漏れします。
●別売のユニットを取付けている場合、ユニットに付属の取扱説明書も併せてご覧ください。

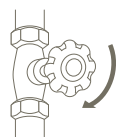
■凍結してしまったとき

凍結したときは給湯栓を開けても水は出てきません。
解凍するまで待つて、次の操作により水が出ることを確認してから運転してください。

- 1 ガス栓 (1) を閉じます。



- 2 給水元栓 (2) を閉じます。
配管が破損していた場合の水漏れを防止する目的です。



- 3 運転スイッチを「切」にします。



- 4 とくとき給水元栓 (2) を開けて、給湯栓から水が出ることを確認します。水が出てくれば給湯は使用できます。給水元栓 (2) を開け、機器および配管から水漏れがないことを確認してください。ガス栓 (1) を開けます。

- 5 運転スイッチを「入」にします。
ふろ自動運転を行い、機器の水漏れや追いだき配管が凍結していないか、確認します。
※循環口からお湯が出ることを確認してください。
しばらく(1分程度)してもお湯が出ない場合は、ふろ自動運転を中止してください。

- お願い** ●取扱説明書に従った凍結予防の処置をせずに機器や配管が破損しますと、高額な修理費用(有料)がかかる場合があります。
●給水・給湯配管が凍結すると配管や給湯栓が破損することがあります。解凍後は、全ての給湯栓を閉じてから水道メーターを見るなど水漏れしていないことをご確認してください。
●機器や配管が破損し、床や壁などを濡らして生じる損害はお客様の責任となります。

長期使用製品安全点検制度

■長期使用製品安全点検制度について

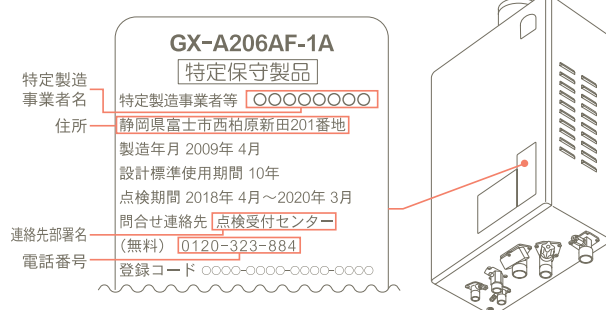
この製品は消費生活用製品安全法（消安法）で指定された特定保守製品です。

- 特定保守製品とは『消費生活用製品のうち、長期間の使用に伴い生ずる劣化（経年劣化）により安全上支障が生じ、一般消費者の生命または身体に対して特に重大な危害を及ぼすおそれが多いと認められる製品であって、使用状況等から見てその適切な保守を促進することが適当なもの（消安法第2条第4項）』として指定された製品です。

■法定点検（有料）について

特定保守製品は、経年劣化による重大事故を防止するために、製品ごとに設定された点検期間中に点検を受けることが製品の所有者の責務として求められています。（消安法第32条の14）この製品に表示してある点検期間になったら、忘れずに点検を受けてください。なお、法定点検後も機器を継続して使用する場合には、こまめに（年1回程度）点検を受けることがこの機器を安全にご使用いただくために必要となりますので、ご注意ください。また、法定点検は、法定点検の基準に製品が適合しているかどうかを確認するものであって、その後の安全を担保するものではありません。

- この製品の点検期間は右図のように表示しています。
 - この製品は設計標準使用期間10年の前後1年間を法定の点検期間として設定しています。
- 点検期間には忘れずに法定点検（有料）をご依頼ください。



■所有者登録について

特定保守製品の所有者は、この製品の製造事業者に法定の所有者登録をすることが求められています。（消安法第32条の8第1項および第2項）

下記、所有者登録の方法をご覧になり、いずれかの方法で、ご登録をお願いします。

また、引越し等で住所が変わった場合や所有者が変わった場合など、所有者登録の内容に変更が生じた場合は、速やかに登録内容の変更をお願いします。変更のご登録をしない場合は点検通知が届きません。

所有者登録情報に関するお問い合わせは「■法定点検の連絡先について」（→P. 29 参照）をご覧ください。

なお、ご登録いただいた所有者情報は、消安法、個人情報保護法および弊社規定により、適切な安全対策の元に管理し、法定点検・リコール等製品安全に関するお知らせをする場合以外には使用いたしません。

所有者登録の方法 以下のいずれかの方法で登録を行います。

所有者票（返信はがき）で登録する

- 添付の所有者票に必要事項をご記入の上、投函してください。



インターネット（パソコン）で登録する

- ホームページ（<https://user.purpose.jp/takagi/pcIndex.jsp>）へアクセスし、画面の案内に従って登録をお願いします。



モバイル（携帯電話）で登録する

- 添付の所有者票のQRコードを読み取り、携帯サイトの画面に従って登録を行ってください。ご使用中の携帯電話がQRコードに未対応の方やURLがうまく受信できない方は、所有者票（返信はがき）またはインターネット（パソコン）での登録をお願いします。



※所有者登録は聞き間違い等による誤登録を防ぐため、お電話での受付はしていません。

法定点検通知について

- 法定の所有者登録をいただいた方に、法定点検の通知をいたします。（消安法第32条の12）通知は弊社から、はがきにて送付します。

- 法定点検に関するお問い合わせは、「■法定点検の連絡先について」（→P. 29 参照）をご覧ください。

長くお使いいただくために

長期使用製品安全点検制度

■この製品の設計標準使用期間について

この製品の設計標準使用期間は10年と算定しており、適切な点検をすることなく、この期間を超えてご使用になると、経年劣化による一酸化炭素中毒や火災等の事故に至るおそれがあります。

設計標準使用期間とは

標準的な使用条件（下記の「設計標準使用期間の算定の根拠」参照）の下で、適切な取り扱いで使用し、適切な維持管理が行われた場合に、安全上支障なく使用することができる標準的な期間として設計上設定される期間で、製品ごとに設定されるものです。（消安法第32条の3） 無償保証期間とは異なります。

設計標準使用期間の算定の根拠

この製品の設計標準使用期間は、製造年月を始期とし、給湯部については、JIS S 2071「家庭用ガス温水機器・石油温水機器の標準使用条件及び標準加速モード並びにその試験条件」の「6 標準加速モード」に従い、ふろがま部については、JGKAS C 301「家庭用ガスふろがま・石油ふろがまの標準使用条件及び標準加速モード並びにその試験条件」の「4 a）標準加速モード」に従って以下の標準使用条件で、耐久試験を行い、経年劣化により安全上支障が生ずるおそれが著しく少ないことを確認した時期を終期として設定しています。

標準使用条件						
家族構成		4人世帯	使用日数/年	365日	電源電圧/周波数	100V(50Hz/60Hz)
給湯部	用途		洗面・台所・湯張り・シャワー	給水温度	15℃	
	季節		中間期（春、秋）	出湯温度	40℃	
	気温 / 湿度		20℃/65％	1日使用量	456ℓ	
	――		――	使用時間 / 日	1時間	
ふろ部	ふろの沸かし上げ/日		1回(15℃から 40℃)	入浴回数 / 日	1回	
	保温(追いだき)/日		2回(38℃から 40℃)	浴槽の標準水量	180ℓ	

! ご注意ください

- 上記の標準的な使用条件を超える使用頻度や異なる使用環境（高温・多湿・寒冷地・海岸近辺（塩害地域）・高地（海拔1,000m以上）・温泉水・井戸水・地下水使用など）などで使用した場合は、設計標準使用期間よりも早期に安全上支障を生じるおそれが多くなることが予想されますので、製品に表示している点検期間より早期の点検を実施してください。お客様ご自身が思い当たる場合や気になる点がある場合は下記にご連絡ください。

■法定点検の連絡先について

所有者登録情報の変更・法定点検に関するお問い合わせ・法定点検の点検作業のご依頼

パーパス点検受付センター フリーダイヤル：0120-323-884 受付時間/年中無休 9:00～17:00

- 点検費用はお客様にご負担いただくこととなります。点検料金につきましては、パーパス点検受付センターへお問い合わせください。また、点検の結果、整備・修理が必要となった場合は別途費用が発生します。
- 法定点検は全国のサービス店で対応いたします。また、ホームページ（<http://www.purpose.co.jp/>）からもご確認いただけます。

■部品の保有期間について

この機器の部品の保有期間は以下の通りです。

部 品	保 有 期 間	部 品 内 容 (部 品 名)
点検に係わる整備用部品	11年	点検の結果必要となると見込まれる部品です バッキン・Oリング・点火プラグ・イグナイター・フレームロッド・ハイリミットスイッチ・温度ヒューズ・温度検出サーミスタ
補修用品	10年	機器の機能を維持するために必要となる部品です

点検のポイント・お手入れのしかた

安全に長くお使いいただくために、点検とお手入れは定期的に行いましょう。

■点検のポイント（月1回程度）

次の8つのポイントで点検してください。

- 1 機器および配管から水漏れはありませんか？
水漏れは、機器の故障だけでなくお隣や階下の方にも多大な迷惑をかけます。
- 2 機器および配管からガスの臭気がしませんか？
- 3 運転中に機器から異常音が聞こえませんか？
- 4 機器の外観に異常は見られませんか？
- 5 給排気筒（給排気筒トップを含む）の損傷やつまり、外れていることはありますか？
- 6 機器のまわり、および給排気筒（給排気筒トップを含む）のそばに燃えやすいものはありますか？
- 7 浴槽に循環口フィルターがついていますか？
- 8 給排気筒トップへの積雪や、屋根から落ちた雪により給排気筒トップが塞がれていませんか？
給排気筒トップが塞がれていると、機器が不完全燃焼することがあります。
積雪時には給排気筒トップの点検、除雪を行ってください。屋根から落ちた雪が給排気筒トップをふさぐおそれがあるときはお買い上げの販売店、または弊社窓口へご連絡ください。



■お手入れのしかた（月1回程度）

機器本体およびリモコンのお手入れ

- 汚れは、水にぬらしたやわらかい布をかたく絞って、軽くふき取ってください。
- シンナー・ベンジンなどは使わないでください。
変形する場合があります。



■定期点検のおすすめ（有料）

- 機器を安心してより長くご使用いただくために、法定点検の他に1年に1回程度の定期的な点検を受けることをおすすめします。なお、給水用具（逆流防止装置）に関しては、4～6年に1回程度の点検をおすすめします。点検はお買い上げの販売店、または弊社窓口へご相談ください。
また、日常の点検およびお手入れについては「点検のポイント・お手入れのしかた」（→P. 30～31参照）をご覧ください。

⚠ 警告 ●フロントカバーを外したり、リモコンを分解したりしない。

❗ ご注意ください



分解禁止

- 機器本体のお手入れは、ガス栓を閉じ、電源プラグを抜き、機器が冷えてから行ってください。また、怪我などしないよう、指先には十分注意してください。
- 給湯栓の先端に泡沫器が内蔵されているものについては、ときどき内部のフィルター（金網）を掃除してください。
- 台所リモコンには水をかけないようにしてください。リモコンの内部には電気部品が入っていますので故障の原因となります。また、浴室リモコンは防水タイプですが、故意に水をかけないでください。
- 洗剤およびシンナー、ベンジンなどでは拭かないでください。
- 水圧の低い地域では泡沫器は使用しないでください。

お願い

長くお使いいただくために

点検のポイント・お手入れのしかた

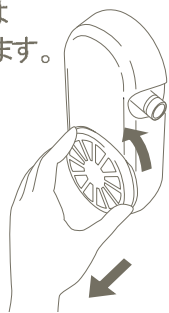
■循環口フィルターの掃除（こまめに掃除）

浴槽をお掃除するときは循環口フィルターも掃除してください。循環口フィルターには、湯アカや毛、タオルのくずなどが意外と多くたまるものです。循環口フィルターの汚れがひどいと、循環量が弱まったり、追いだきができなくなります。

循環口フィルターの外し方

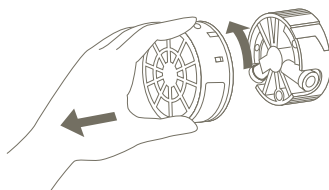
循環口フィルターの外し方は循環口の種類により異なります。

TP-S150タイプ



循環口フィルターのローレット部をつまみ、左に回して手前に引きます。

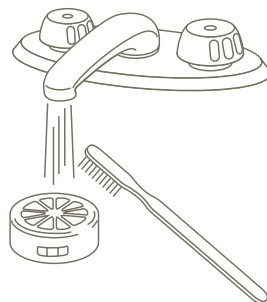
TP-S100タイプ



循環口フィルターを左に回して手前に引きます。

循環口フィルターを掃除する

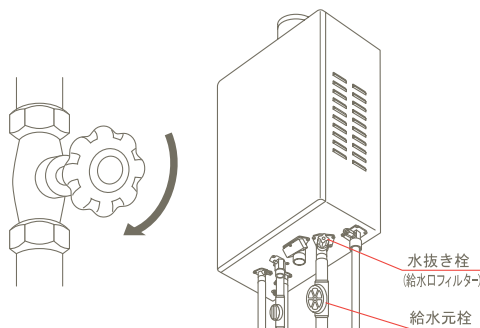
歯ブラシなどで洗います。



掃除後、循環口フィルターを元のように取り付けます。

■給水口フィルターの掃除

給水口フィルターがつまるとお湯の出が悪くなったり、お湯にならない場合があります。そのときは、次の要領で給水口フィルターを掃除してください。（特に、新築等の場合）



1 給水元栓を閉じる。

2 給水接続口にある水抜き栓を外す。

3 歯ブラシなどで洗う。

4 元のように取り付ける。

■点検・お手入れ後の確認

点検・お手入れ後はガス栓を開いて、運転スイッチを「入」にしてから給湯栓を開き、機器が正常に作動していることを確認してください。万一、異常な燃焼・臭気・音を感じられたときは、使用を中止し、ガス栓を閉じてお買い上げの販売店、または弊社窓口へご連絡ください。

お願い

- 循環口フィルターは必ず取り付けてご使用ください。
循環口フィルターを付けないで運転すると、ポンプ等の故障の原因となります。
- 給水口フィルターを外すと水が出ます。
水が流れては不都合な場所では、あらかじめ容器を用意して水をうけてください。
- 再使用するときは、水抜き栓を元通りに確実に閉じてください。閉じかたが不十分だったり閉じ忘れたりすると、そこから水漏れします。
- 別売のユニットを取付けている場合、ユニットに付属の取扱説明書も併せてご覧ください。

故障かな?と思ったら

こんなとき

ここを調べてください

リモコンの画面に
表示が出ない

省電力の待機中ではありませんか (→23ページ)
電源プラグがコンセントに差し込まれていますか (→10ページ)
停電していませんか (→5ページ)

アラーム番号「252」が点滅し、
動作しない

給水元栓が全開になっていますか (→10ページ)
断水していませんか
おふろの排水栓はしっかりはまっていますか (→13ページ)
追いだきスイッチを5秒以上長押ししましたか (→18ページ)

給湯燃烧表示が表示しない
(台所リモコンは、給湯燃烧ランプが
点灯しない)
お湯が出ない

ガス栓が全開になっていますか (→10ページ)
給水元栓が全開になっていますか (→10ページ)
断水していませんか
給湯栓が十分開いていますか (→11ページ)
給水口フィルターがつまっていますか (→31ページ)

高温のお湯が出ない
低温のお湯が出ない

給湯栓が十分開いていますか (→11ページ)
温度調節は適切ですか (→11ページ)
混合水栓やサーモミキシングバルブを使用し、高温
のお湯が出ない場合は、リモコンの給湯温度を60℃
にセットしてください

ふろ燃烧表示が表示しない
(台所リモコンは、ふろ燃烧ランプが
点灯しない)

ガス栓が全開になっていますか (→10ページ)
浴槽に水が入っていますか

おふろ使用中に消火した

ガス栓が全開になっていますか (→10ページ)
設定温度が低過ぎませんか (→15ページ)

浴槽の水があつい(ぬるい)

ふろ温度のセットは適切ですか (→15ページ)

浴槽の水が少ない(多い)

ふろ水位のセットは適切ですか (→16ページ)

それでもわからないときはアフターサービスをお申し付けください。

長くお使いいただくために

故障かな?と思ったら

■こんな時は故障ではありません

現象

点検項目

給湯栓を絞りすぎて水になった

この機器は通水量が約2.5ℓ/分以下になったときには消火します。

夏期水温が高いとき
低温のお湯が出ない

夏期など、水温が高いときに低温のお湯を少量得ようとすると、湯温が高くなります。給湯栓をもっと開いて出湯量を多くすれば湯温は安定します。

お湯が白く濁って見える

これは水中に溶け込んでいた空気が熱せられ、大気圧まで急速に減圧されることで細かい泡となって出てくる現象です。ビール、サイダー等の泡と似た現象であり汚濁とは違って、まったく無害なものです。

浴槽、洗面台が青く見える

湯ア力が残っていると、水中の微量の銅イオンと化合して青く変色することがあります。掃除はこまめに行ってください。

寒い日排気口から白い湯気が出る

外気温が低いときには排気ガスの水蒸気が白い湯気となりますが、故障ではありません。

冬期など寒いとき追いだきの
ポンプが自動的に動く

凍結破損予防のため、ポンプが自動運転を行います。

給湯栓を開いてもすぐに
お湯が出てこない

機器から給湯栓までは距離がありますので、お湯が出てくるまでには少し時間がかかります。

出湯停止後しばらくファンの
回転音がする

再使用時の点火をより早くするため、しばらくの間は回転しています。

自動スイッチを押した後
お湯入れがときどき停止する

浴槽の中に正確にお湯入れをするための動作です。

運転終了後もしばらく
ポンプが回る

「ぬるく」・「ふろ自動」・「追いだき」・「たし湯」運転終了後、かくはんのためポンプがしばらく回ります。

時計表示が合っていない

30分以上の停電後、再通電すると表示画面がAM1:00になります。なお、ふろ水位・温度設定・予約時刻・保温時間等も初期状態に戻りますので再設定してください。

保温中ときどきポンプが回る

浴槽のお湯の温度を検知するためおよそ15～30分間隔で回ります。

ときどき水抜き栓から水が出る

水抜き栓がしっかり閉じていないと水漏れします。給湯側の水抜き栓は、過圧防止安全装置をかねています。圧力を逃すために湯(水)が出る場合があります。設置場所に応じて水抜きホースを取り付けてください。

給湯栓を開けたとき
お湯の量の変動する

湯温を安定させるために自動的に湯量調整しています。すぐに湯量は安定します。

給湯使用中にお湯の量が
変化する

お湯を使用中、他の場所でお湯を使用したり、「ふろ自動」「たし湯」運転をすると、お湯の量が減る場合があります。

以上のことをお調べのうえ、なお異常のあるときは
お買い上げの販売店、または弊社窓口へご連絡ください。

- 不具合が生じたとき、その原因をアラーム番号でお知らせします。原因に応じて表示部にアラーム番号が表示点滅し、自動的に運転が停止します。
- アラーム番号が表示点滅したときは、お買い上げの販売店、または弊社窓口へご連絡ください。そのときは、表示されているアラーム番号もお知らせください。

アラーム番号	内 容	処 置 方 法	使 用 状 態	アラーム番号	内 容	処 置 方 法	使 用 状 態
011	給湯60分以上連続使用	給湯栓を閉じてリセット	給湯	510	元ガス電磁弁故障	修理を依頼する	給湯・ふろ自動・たし湯・追いだし
030	未対応ガス種選択	修理を依頼する	—————	511	給湯ガス電磁弁故障		給湯・ふろ自動・たし湯・追いだし
032	凍結予防水抜き異常	浴槽の排水を確認後リセット	凍結予防水抜き時	512	追いだしガス電磁弁故障		給湯・ふろ自動・追いだし
101	給湯自己診断能力ダウン	修理を依頼する	給湯・ふろ自動・たし湯	562	注湯電磁弁異常		給湯・ふろ自動・たし湯
111	給湯側点火不良	ガス栓確認後リセット	給湯・ふろ自動・たし湯	610	ファン回転故障		給湯・ふろ自動・たし湯・追いだし
112	ふろ側点火不良		ふろ自動・追いだし	700	電装基板故障		—————
121	給湯側失火・給気汚染異常		給湯・ふろ自動・たし湯	700	ガス比例弁駆動回路異常		給湯・ふろ自動・たし湯・追いだし
122	ふろ側失火	修理を依頼する	ふろ自動・追いだし	711	給湯電磁弁回路不良		給湯・ふろ自動・たし湯
140	空だき安全装置作動・電磁弁OFF		給湯・ふろ自動・たし湯・追いだし	712	ふろ電磁弁回路不良		ふろ自動・追いだし
252	ふろ水流SW異常		ふろ自動・追いだし	721	給湯側プリ・ポスト異常		給湯・ふろ自動・たし湯
311	出湯温サーミスタ断線		給湯・ふろ自動・たし湯	722	ふろ側プリ・ポスト異常		ふろ自動・追いだし
312	ふろ入サーミスタ断線		ふろ自動・追いだし	740	台所リモコン通信異常		—————
321	入水温サーミスタ断線		給湯・ふろ自動・たし湯	750	浴室・増設リモコン通信異常		—————
322	ふろ出サーミスタ断線		ふろ自動・追いだし	755	〈別売のユニット〉通信異常	修理を依頼する (別売のユニットを取付けた場合)	—————
331	混合温サーミスタ断線		給湯・ふろ自動・たし湯	901	給気汚染異常	修理を依頼する	給湯・ふろ自動・たし湯
391	給湯側サーモカップル異常		給湯・ふろ自動・たし湯	991	給湯側自己診断燃焼異常		給湯・ふろ自動・たし湯

リセット操作 運転スイッチを一度「切」にし、3秒以上経過してから、運転スイッチを「入」にする。

番号によっては、給湯やふろ温度表示部に、補足の番号が出る場合があります。ご連絡のときは、アラーム番号とあわせてお知らせください。給湯側のアラーム、異常停止、警告表示の場合は給湯温度表示部にアラーム番号と同時に点滅します。その他のアラーム、異常停止、警告表示の場合はふろ温度表示部にアラーム番号と同時に点滅します。



■こんな場合には安全装置が働きます () はアラーム番号

- 寒いとき、機器の電気ヒーターが働き機器内の凍結を防止します。……………凍結予防装置
- バーナーが正常に燃焼しないとき作動し、ガスが自動的に停止します。(121、122) ……立消え安全装置
- 電気回路に漏電が生じた場合に電気を停止します。……………漏電安全装置
- 給水されていないのに燃焼している場合にガスを止めます。(721、722) ……残火安全装置
- 機器の温度が異常に上昇した場合にガスを止めます。(140) ……………過熱防止装置
- 機器内の水圧が異常に上昇した場合に機器の損傷を防止します。…………過圧防止安全装置



- アラーム番号“101”が表示されたときは、給湯自己診断機能により給湯能力がさがります。(20号から約12号に) 使用はできますが十分な給湯能力が出ない状態ですので修理を依頼してください。アラーム番号“102”が表示されたときは、ふろ自己診断燃焼改善中ですので修理を依頼してください。(自己診断機能とは、機器のガスの燃焼が異常になった場合にその燃焼を正常にしようとする機能をいい、自己診断機能が働いても燃焼が正常にならない場合は自動的に運転を停止します)
※型式名に-Nがつく機種は自己診断機能がありません。このため、アラーム番号“101”“391”“901”“991”はありません。
- アラーム番号“111”・“121”が表示されたときは、給湯栓を閉じるにより、アラームが解除される場合があります。

アフターサービスについて

サービスを依頼されるときは

- 32～34ページの「故障かな?と思ったら」の項を確認ください。それでも直らない場合、あるいはご不明の場合には、ご自分で修理なさらないで、お買い上げの販売店、または弊社窓口へご連絡ください。
- アフターサービスをお申しつけの際は、次のことをお知らせください。
 - (1) 氏名・住所・電話番号・道順（付近の目印等）
 - (2) 品名（例）GX-204AF-1R
（ガスの種類例えば13A）
 - (3) 現象（故障または異常内容、アラーム番号などできるだけ詳しく）
 - (4) 訪問ご希望日

※弊社窓口は、商品保証書の下段をご参照ください。

保証について

- この取扱説明書の裏表紙が保証書になっています。
- 必ず「販売店名・購入日」等の記入をお確かめになり、保証内容をよくお読みの後、大切に保管してください。
- 保証書を紛失されますと、保証期間内であっても修理費をいただくことがありますので、大切に保管してください。
- 保証期間経過後の故障修理については、修理により製品の機能が維持できる場合は、ご希望により有料で修理いたします。

補修用性能部品の保有期間について

- この製品の補修用性能部品（機能維持のために必要な部品）の保有期間は製造打切り後10年です。ただし、保有期間経過後であっても補修用性能部品の在庫がある場合は有料で修理いたします。

転居または機器を移設される場合

- ガスの種類が、異なる地域へ転居される場合は、調整・改造の必要があります。お買い上げの販売店、または転居先のガス会社へご相談ください。
- 増改築などのため機器を移設される場合、工事には専門の技術が必要となりますので、必ずお買い上げの販売店、または弊社窓口へご連絡ください。
- 設置場所の選定にあたっては、運転音や振動が大きく伝わらないような場所をお選びください。また、機器本体の排気口からの温風や運転音が隣家の迷惑にならないような場所を選ぶなど、ご配慮ください。
- 転居、移設にともなう調整や工事の費用は、保証期間内でも有料となります。

アフターサービス等についてわからないとき

- お買い上げの販売店、または弊社窓口へお問い合わせください。

※弊社窓口は、商品保証書の下段をご参照ください。

長期間使用しない場合

- 長時間使用しない場合は次の操作をしてください。
 - (1) ガス栓を閉じます。
 - (2) 給水元栓を閉じます。
 - (3) 機器の水抜きを行います。
（水抜き方法は、26ページを参照してください）
 - (4) 電源プラグを抜きます。

仕様一覧

〔仕様表〕

項	目	内容
品名		GX-206AF-1
型式		GX-206AF
外形寸法(mm)/質量(kg)		幅470×奥行239×高さ630/30
種類	給湯方式	先止め式
	設置方式	屋内壁掛形
点火方式		AC100V連続放電式（ダイレクト着火）
水压	希望所要水压	80～500kPa（0.8～5.0kgf/cm ² ）
	最低動作水压	10kPa（0.1kgf/cm ² ）
接続	ガス	LP, 12A, 13A: 15A (R1/2) オネジ, その他: 20A (R3/4) オネジ
	給水・給湯	15A (R1/2) オネジ
	追いだき往・戻	15A (G1/2) オネジ
電気関係	電源	AC100V (50/60Hz)
	リモコン側	24V以下
	消費電力	無負荷 8W (省電力中3W)
		同時使用 180W/205W
	凍結予防時	電気ヒーター給湯側100W 追いだき側15W 同時200W/230W ポンプ運転100W/130W
	電源コード/リモコンコード	VCT (2心) 機外長2.0m/FMY02-00 (2心)
安全装置		ファン回転検出装置（回転検出方式） 立消え安全装置（フレイムロッド方式） 残火安全装置（バイメタル式） 過圧防止安全装置（スプリング式） 空だき安全装置（バイメタル式） 空だき防止装置（水量センサー・水流スイッチ） 過熱防止装置（温度ヒューズ） 漏電安全装置（漏電リレー） 誘導雷保護装置（サージアブソーバー） 凍結予防装置（電気ヒーター＋ポンプ運転） 過電流安全装置（ガラス管ヒューズ）

〔能力表〕

使用ガス 使用ガスグループ			1時間あたりのガス消費量kW {kcal/h}			出湯能力(最大時) (ℓ/min)		ガス接続
			給湯・ふろ同時使用	給湯(最大)	ふろ	水温+25℃上昇	水温+40℃上昇	
都市ガス	13A					55.8 {48,000}	44.2 {38,000}	11.6 {10,000}
	12A		52.0 {44,700}	41.2 {35,400}	10.8 {9,300}	18.8	11.8	
	6A		—	—	—	—	—	20A (R3/4)
	5C		—	—	—	—	—	
	L1	7C	55.8 {48,000}	44.2 {38,000}	11.6 {10,000}	20.0	12.5	
		6B						
		6C						
	L2	5A	—	—	—	—	—	
		5B						
		5AN						
	L3	4A	—	—	—	—	—	
		4B						
4C								
LPガス			55.6 {3.97kg/h}	44.4 {3.17kg/h}	11.2 {0.80kg/h}	20.0	12.5	15A(R1/2)

◎ ガス: JISに規定する標準ガス、標準圧力のとき。

◎ 出湯能力は、水压200kPa {2kgf/cm²} のときで、温度を高め設定し、水と混合させることにより可能となる最大流量の計算値をいいます。

◎ 本仕様は改良のためお知らせせずに変更することがあります。

長くお使いいただくために

メモ

メモ

品名 GX-206AF-1 GX-204AF-1R

お買い上げ日	年 月 日		保 証 期 間	お よ び 保 証 品	熱交換器	3ヶ年
お客様	ご芳名	様	保 証 期 間	お よ び 保 証 品	それ以外 の部分	2ヶ年
	ご住所					
販売店	店 名	電話番号	取 扱 者			印
	住 所					

お客様へ

●この保証書をお受取りになるときに販売年月日、販売店名、扱者印が記入してあることを確認してください。

●本証書は再発行いたしませんので紛失されないよう大切に保管してください。

上記機器をお買い上げいただきましてありがとうございます。この保証書はおお客様の通常のご使用により万一故障した場合には、本書記載内容で無料修理をお約束するものです。

記

- (1)保証期間は上記品名の機器をお買い上げの日から表記の期間とし機器本体を対象とします。
- (2)万一故障の場合はお買い上げの販売店または、弊社修理受付センターへお申し出ください。原則として出張修理をいたします。なお、離島および離島に準ずる遠隔地へのお出張修理を行った場合、出張に要する実費を申し受けます。
- (3)サービス員が参上したときに本証書をお示しください。紛失されますと有料修理となる場合があります。
- (4)保証期間中でありましても次の場合には有料修理となります。
 - (イ)当製品の取扱説明書、又は貼付ラベル等のご案内によらないでご使用になり故障した場合。
 - (ロ)当製品の工事説明書によらないで施工されたり、専門業者以外による修理、移動、改造等を行ったことにより故障した場合。
 - (ハ)設置環境の経年変化に伴う故障、及び塗装の色褪せ・摩擦等により生ずる機能に影響ない変化。
 - (ニ)海岸付近・温泉地等の地域における腐食性の空気環境に起因する機能に影響ない変化。
 - (ホ)ねずみ・くも等の生物活動に起因する故障。
 - (ヘ)住宅用途以外（例えば業務用・船舶・車両上でのご使用）にてご使用された場合の故障。
 - (ト)火災・地震・洪水・落雷等の天変地異、凍結、又は暴動等の破壊行為による故障。
 - (チ)ガス・電気・給水の供給トラブルによる故障。
 - (リ)熱量変更、又は移動等に伴う調整、確認作業。
 - (ヌ)給水・給湯配管の錆び等異物混入による故障。
 - (ル)温泉水・井戸水をご使用になったことによる故障。
 - (ヲ)水道法に定められた飲料水の基準に適合しない水をご使用になったことによる故障。
- (5)本書は、日本国内においてのみ有効です。 This warranty is valid only in Japan.
- (6)この保証書によって保証書を発行している者、およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
- (7)商品や修理以外のお問い合わせ等はお買い上げの販売店または、弊社お客様相談室へお問い合わせください。

パーパス株式会社

〒417-8505 静岡県富士市西柏原新田201

弊社窓口

修理受付センター(修理受付のみ)	点検受付センター(点検受付のみ)	お客様相談室(修理・点検以外や商品のお問い合わせ等)
TEL 0120-260-884(通話料金無料)	TEL 0120-323-884(通話料金無料)	TEL 0545-32-1389
携帯電話からは 03-5682-4545 へおかけください。	携帯電話からは 0545-32-1389 へおかけください。	受付 平日 9:00 ~ 19:00
受付時間:年中無休 24 時間修理受付	受付時間:年中無休 9:00 ~ 17:00	時間 土曜日・日曜日・祝日 9:00 ~ 17:00

ご連絡いただいた個人情報は、弊社規定によりお問い合わせ対応に必要な範囲内で使用します。お問い合わせ内容につきましては、個人を特定できないデータに加工した後、サービス向上等のために利用いたします。